

クイックガイド編



AVN7706HD

HDDナビゲーション内蔵 HDD/DVD/MD/MS
7.0WVGA-AVシステム

お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

1 安全にお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
本機が故障したときにしていただきたいこと



知っておくと便利なこと
知っておいていただきたいこと

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

2 安全上のご注意



警告

- 本機はDC 12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。
- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。
- 運転者は走行中に音量調整などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中にディスクの切り替えをしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- ディスクおよび“メモリースティック”差し込み口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機およびHDD（ハードディスクドライブ）を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

安全上のご注意



警告

- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起きたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。



注意

- 本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 電源 ON 時は、ボリュームに注意してください。電源 ON 時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ディスクおよび“メモリースティック”差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって廃棄してください。



注意

- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。

< A / T 車の場合 >

- ディスク等を取り出す際、P レンジで干渉する場合は N レンジに切り替えてから操作してください。(コラム A / T の場合は P または N レンジで操作してください。)
- チルト位置を設定する際、P または R、N レンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

< M / T 車の場合 >

- ディスク等を取り出す際、1・3・5・ ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
- チルト位置を設定する際、1・3・5・ ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)



アドバイス

- 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。

安全上のご注意



アドバイス

- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD 及び DVD 読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは 1 時間ほどそのままの状態では置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
 - 本機をお買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくすると GPS の測位によって表示位置などが修正されます。
 - 本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様が本機に記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。
 - なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
 - ① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電氣的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。
 - ② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、ハードディスクドライブ内の地図データや基本プログラム、お客様が本機に記録されたデータ等が変化・消失した場合。
 - ③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。
- ※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。
- 本機は他の電装品からの電氣的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。

3 取扱書の構成

このような順に各取扱書をご利用ください

AVN7706HD では 3 冊の取扱書を同梱しています。
ご利用状況に応じて取扱書を使い分けてください。

本機の基本的な操作に慣れるまで

「取扱説明書クイックガイド編」をお読みください。
本機の基本的な使い方やふだんよく使う機能のみを説明しています。



ナビゲーションの機能を全て活用したいとき

「取扱説明書ナビゲーション編」をお読みください。
ナビゲーションの全ての機能を説明しています。



オーディオの機能を全て活用したいとき

「取扱説明書オーディオ編」をお読みください。
オーディオの全ての機能を説明しています。



仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。また、ナビゲーションの画面では、一部の操作説明を除き GPS マークや VICS 情報を表示していません。

4 本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとに No. とタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

ワンポイント

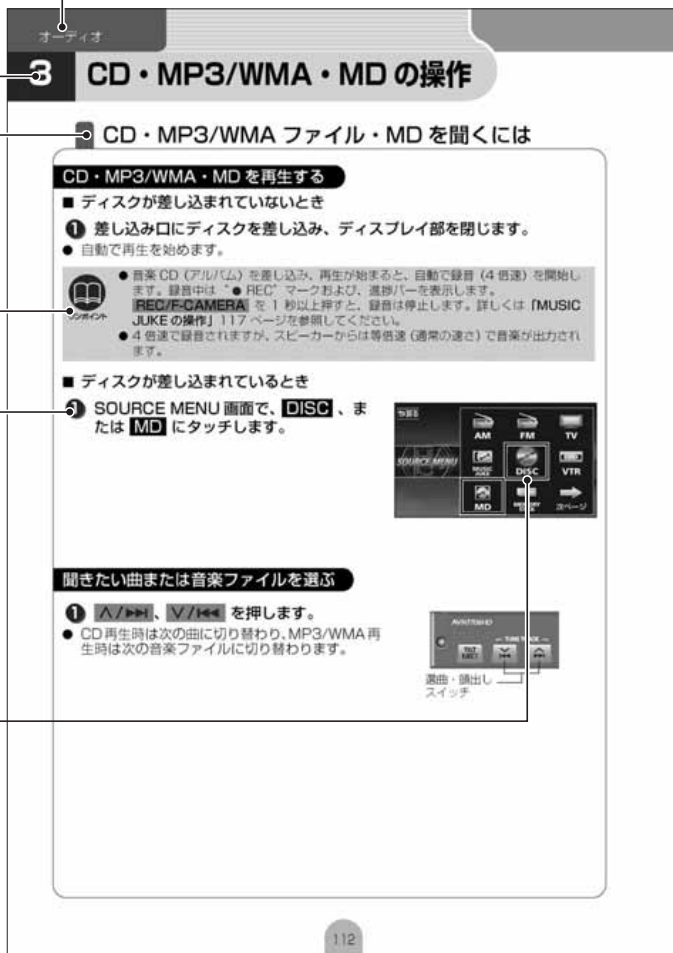
操作に関連することなどを記述しています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

操作スイッチ

操作に必要なスイッチを示しています。



簡単にフォルダや音楽ファイルを選ぶ (MP3/WMA ファイル)

本機は、MP3/WMA で圧縮された音楽データを再生することができます。音楽データ収録時に、音楽の種類ごとにフォルダで管理すると聞きたい曲を探し出すときに便利です。

- ① フォルダ名、または音楽ファイル名のタッチスイッチにタッチします。
- フォルダにタッチすると、フォルダの中に収録されているデータを表示します。音楽ファイルにタッチすると、タッチした音楽ファイルを再生します。
- TITLE** にタッチすると、再生している音楽に収録されているファイル情報 (アルバム名や曲のタイトル) を表示することができます。



フュンク

- 同じフォルダ内に音楽ファイルが9個以上ある場合は、▲▼にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。(進行中は操作できません)
- ファイル情報 (アルバム名や曲のタイトル) は、MP3/WMA ディスクの作成方法により表示できない場合があります。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」・「MP3/WMA プレーヤーの操作」を参照してください。

操作例

具体的な目的ごとにタイトルがつけられています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

次ページへ...➡

操作手順が次ページに続く場合を表します。

5 目次

お使いになる前に

安全に正しくお使いになるために.....	2
安全上のご注意	3
取扱書の構成.....	7
このような順に各取扱書をご利用ください.....	7
本書の見方	8
目次.....	10

はじめに

各部の名称	14
パネルスイッチについて	14
タッチスイッチについて	16
電源の入れ方・切り方	17
電源の入れ方・切り方について	17
ディスク・“メモリースティック” の出し入れ	19
CD、DVD、MD、“メモリースティック” の 入れ方・出し方について	19
角度の調整	27
ディスプレイを好みの角度に調整しよう	27
アクティブ・ウィングを好みの角度に調整しよう	28
アクティブ・ウィングを閉じる	29
本機のモードについて	30
各モードについて理解しよう.....	30
本機の作動条件について	31
各機能の作動状態について	31
各モードの呼び出し.....	32
各モードを呼び出してみよう.....	32

ナビゲーション

地図の操作	33
自分の車の位置を確認しよう.....	33
地図を動かしてみよう（ワンタッチスクロール）.....	34
地図の縮尺を変えてみよう	35
地図の向きを変えてみよう	36
地図の表示方法を変えてみよう	37
地図にいろいろな施設のマークを表示しよう	39

場所の登録	40
自宅を登録しておこう	40
お気に入りの場所を登録しよう	46
新しい建物などを施設のマークで登録しよう	52
ルート案内について	56
ルート案内を開始するには	56
ルートの探索（行き先を指定）	57
行き先を決めてルート探索をしよう	57
地図を移動して探すには	58
自宅に帰るには	59
主要施設から探すには	60
電話番号から探すには	62
ルートの設定	65
希望のルートを設定しよう	65
ルートの道のりを確認しよう	67
ほかのルートを選んでみよう	68
ルートの途中に立ち寄り場所を追加してみよう	69
ルート案内	71
ルートの案内について	71
ルート案内に沿って車をスタートしよう	75
案内を途中で中止・再開しよう	76
行き先を消去しよう	77
インフォメーション（情報）機能の操作	78
インフォメーション（情報）機能进行操作しよう	78
VICS 機能の操作	80
渋滞情報を確認するには（VICS 機能）	80
VICS の周波数を合わせよう	81
文字・図形情報を表示しよう	83
地図に VICS 情報を表示しよう	85

目次

ナビゲーション

その他の設定	89
お車の情報（ナンバープレートの分類、車両寸法）を登録しよう.....	89
ナビゲーションの画面に時計を表示するには.....	91
ナビゲーションの音量を調整しよう.....	93
ナビゲーション音声の出力位置を切り替えよう.....	94
ラジオアンテナを下げよう.....	96
ナビゲーションの画面を消すには.....	98
現在地を補正するには.....	99

オーディオ

オーディオソースの切り替え	105
オーディオのソースを切り替えよう.....	105
ラジオの操作	110
ラジオを聞くには.....	110
CD・MP3/WMA・MDの操作	112
CD・MP3/WMA ファイル・MD を聞くには.....	112
“メモリースティック” プレーヤーの操作	115
“メモリースティック” 内の音楽データを聞くには.....	115
MUSIC JUKE の操作	117
MUSIC JUKE について.....	117
MUSIC JUKE に録音するには.....	122
MUSIC JUKE を聞くには.....	124
自分だけのアルバムリストを作成してみよう.....	127
TV・DTV の操作	132
TV・DTV を見るには.....	132
DVD の操作	135
DVD ビデオを見るには.....	135
音質の調整	138
音質を調整しよう.....	138
その他の設定	145
スイッチの操作音（“ピッ”）を変えてみよう.....	145
画面の表示サイズを切り替えよう.....	146

マルチウィンドウ

マルチウィンドウの操作	148
ナビゲーション画面とオーディオ画面を同時に表示しよう	148
マルチウィンドウを操作しよう	150

ESN

ESN (ECLIPSE Security Network) の操作	153
ESN (ECLIPSE Security Network) について	153
本機と“メモリースティック”に暗証番号を登録しよう	154
ESN セキュリティを作動しよう	156
ESN セキュリティロックを解除する (本機を操作できるようにする) ..	158
暗証番号を変更しよう	161
ESN セキュリティシステムを作動させなくする	164
セキュリティインジケータの表示を設定しよう	167

ご参考に

バッテリーの交換時	168
バッテリーを交換したときは	168
お手入れについて	169
本機やアンテナのお手入れについて	169
本機をおゆずりになるときは	170
登録した内容の消去について	170
ユーザー登録の案内とアフターサービスについて	172
ユーザー登録のご案内	172
アフターサービス	173
仕様について	175
各仕様	175
凡例	179

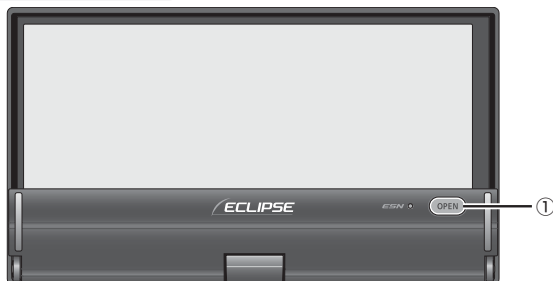
1 各部の名称

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）を押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

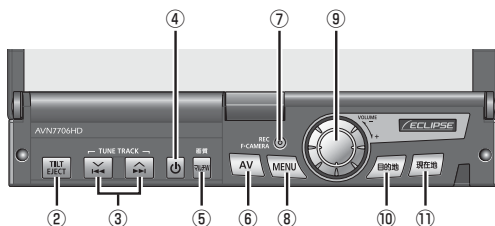
パネルスイッチについて

それぞれのパネルスイッチを押して操作します。

アクティブ・ウィング CLOSE 状態



アクティブ・ウィング OPEN 状態



①	OPEN スイッチ	アクティブ・ウィングやディスプレイを開くときに押します。
②	TILT/EJECT スイッチ	アクティブ・ウィングやディスプレイの角度調整、ディスクを取り出すときに押します。
③	TUNE/TRACK スイッチ	TV・ラジオの選局、音楽 CD の選曲、DVD チャプター選択をするときに押します。
④	⏻ スイッチ	オーディオ・TV の電源を入れるときや、切るときに押します。
⑤	画質 / マルチ W スイッチ	マルチメニューを表示するときに押します。画質の調整や画面を消すときに長押し（1 秒以上）します。
⑥	AV スイッチ	オーディオ・TV の操作画面を表示するときに押します。オーディオのメニュー画面を表示するときに長押し（1 秒以上）します。
⑦	REC/F-CAMERA スイッチ	別売のフロントカメラ*の映像に切り替えるときに押します。再生中の音楽を録音するときや、録音を停止するときに長押し（1 秒以上）します。
⑧	MENU スイッチ	ナビゲーションのメニュー画面を表示するときに押します。
⑨	VOLUME スイッチ	オーディオ・TV の音量を調整するときに回します。
⑩	目的地 スイッチ	ナビゲーションで目的地を設定するときに押します。
⑪	現在地 スイッチ	ナビゲーションの画面 / 現在地を表示するときに押します。

※別売のフロントカメラを装着したときに操作できます。

■ **MENU** を押すと



メニュー画面が表示されます。

ピッ

各部の名称

タッチスイッチについて

画面のスイッチにタッチして操作します。



タッチスイッチ



ピッ



ピッ

[タッチスイッチの操作について]

- タッチスイッチは“ピッ”という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スwitchの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スwitchの機能が働いているときは、タッチスイッチの色が明るくなるものもあります。

■ [OFF] にタッチすると



ピッ



タッチスイッチの表示が消えます。

[ON] にタッチするとタッチスイッチが表示されます。



注意

タッチスイッチは指でタッチしてください。

ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。

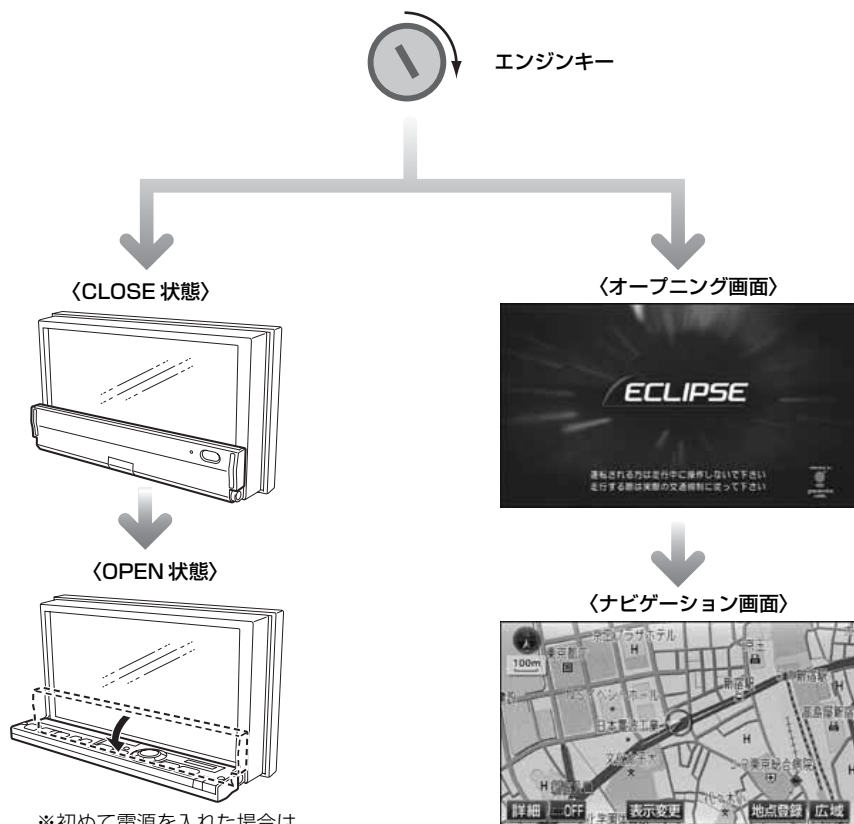
2 電源の入れ方・切り方

電源の入れ方・切り方について

本機は、車のエンジンをかけると、自動的にオーディオ・TV の電源が入り、ナビゲーションの画面、TV の画面※、または DVD ビデオの画面※を表示します。また、アクティブ・ウィングが自動で開きます。

エンジンを切るとアクティブ・ウィングは閉じて、電源が切れます。

※…前回、TV、または DVD ビデオをご覧になっている途中でエンジンを切った場合は TV、または DVD ビデオの画面を表示します。



※初めて電源を入れた場合は、90° の角度で開きます。



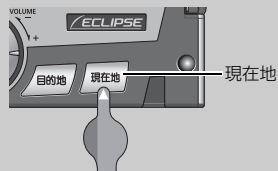
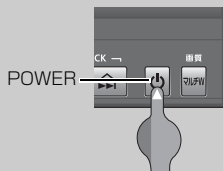
アクティブ・ウィングを手で開閉しないでください。アクティブ・ウィングが損傷する恐れがあります。

電源の入れ方・切り方



ワンポイント

- 内蔵のハードディスクに地図データを収録していますので、地図ディスクは必要ありません。
- ナビゲーションの画面が表示されないときは、**現在地** を押してください。
- オーディオ、または TV の電源が入らないときは、**電源** を押してください。再度、**電源** を押すとオーディオ、または TV の電源が切れます。
- ナビゲーションの電源は切ることができません。



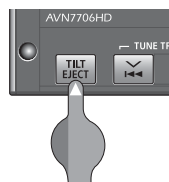
3 ディスク・“メモリースティック” の出し入れ

CD、DVD、MD、“メモリースティック” の入れ方・出し方について

音楽をお聴きになるときは、音楽 CD、MD、または“メモリースティック”を、DVD ビデオを再生するときは DVD ビデオを各差し込み口に入れてください。

各ディスク (DVD・CD・MD) および“メモリースティック” の入れ方

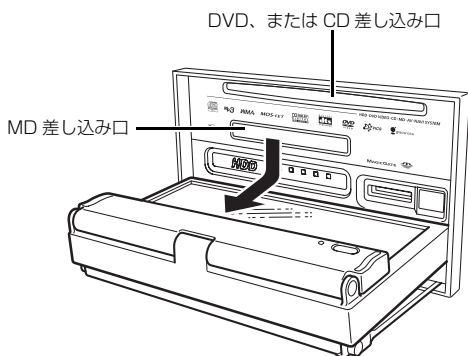
- 1 **TILT/EJECT** を押します。



■ DVD・CD・MDを差し込む場合

- 2 **DISC**、**MD** にタッチします。

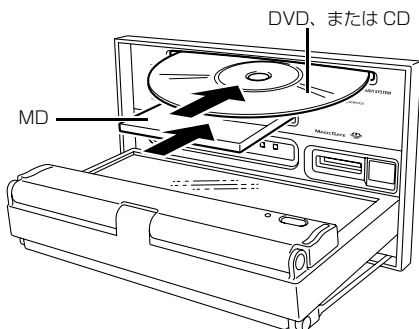
- ディスプレイが開き、各差し込み口があらわれます。



ディスク・“メモリースティック” の出し入れ

3 差し込み口に希望のディスクを差し込みます。

- ディスク差し込み後、ディスプレイ部が自動で閉じます。



- DVD および CD は、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にして差し込んでください。
- DVD を差し込んだときは DVD ビデオの再生が始まります。
- CD を差し込んだときは音楽 CD、または MP3/WMA の再生が始まります。
- MD を差し込んだときは MD の再生が始まります。



ワンポイント

本機の初期の設定では、音楽 CD を再生すると自動で MUSIC JUKE に録音が始まります。録音を中止するには、ディスプレイ部が閉じてから **REC/F-CAMERA** を 1 秒以上押してください。(詳しくは、「**MUSIC JUKE の操作**」117 ページを参照してください。)



注意

- DVD ビデオおよび CD の差し込み口は同じですので、どちらか一方の使用になります。
- 地図ディスク (DVD-ROM) は使用できませんので差し込まないでください。
- 8cmCD を差し込むときはアダプタを使用しないでください。CD を取り出せなくなるおそれがあります。
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー (“P” 位置) もしくはシフトレバー (1・3・5・ 位置) やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを “N” または “ニュートラル” 位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくこと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。
- 各ディスクの差し込み途中に **CLOSE**、または **OPEN** を押さないでください。

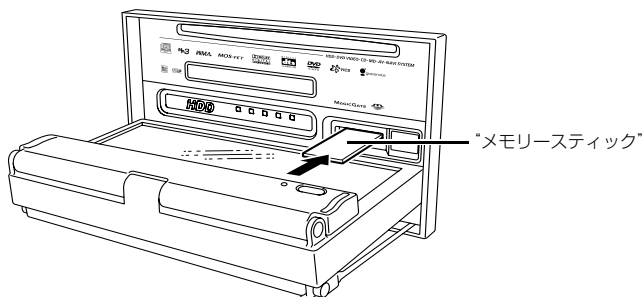
■ “メモリースティック” を差し込む場合

2 **OPEN ▲ MEMORY STICK** にタッチします。

- ディスプレイ部が開きます。
- **TILT/EJECT** を約 1 秒間 “ピッ” と音がするまで押してもディスプレイ部は開きます。



3 差し込み口に “メモリースティック” を差し込みます。

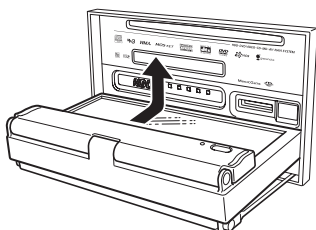


- “メモリースティック” は ▶ マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。（“メモリースティック” が数 mm ほど飛び出した状態になります。）
- “メモリースティック Duo” を差し込むときは、必ず “メモリースティック Duo” アダプタを取り付けてから差し込んでください。（“メモリースティック Duo” のみを差し込むと取り出せないことがあります。）

ディスク・“メモリースティック” の出し入れ

- 4 “メモリースティック” が奥まで差し込まれたことを確認してから **CLOSE** にタッチします。

- ディスプレイ部が閉じます。
- **OPEN** を約 1 秒間 “ピッ” と音がするまで押してもディスプレイ部は閉じます。



注意

- “メモリースティック” の差し込み途中に **CLOSE**、または **OPEN** を押さないでください。
- “メモリースティック”、“マジックゲート メモリースティック” 再生中、画像データ読み込み中およびフォーマット中は、絶対に取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。



ワンポイント

■ DVDについて

- 下記のマークの付いた DVD ビデオディスクが再生できます。また、DVD ± R/RW (DVD ± Recordable/ReWritable) は、ビデオモードで書き込まれたディスクのみ再生できます。ビデオレコーディング (VR) モードで書き込まれたディスクは再生できません。



- DVD ビデオディスクによっては一部の機能が使用できない場合があります。
- DVD ± R/RW (DVD ± Recordable/ReWritable) は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていない DVD ± R/RW は再生できません。
- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- Dolby Digital に対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- DTS、DTS SURROUND に対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。



DTS、DTS Digital Surround は Digital Theater Systems, Inc. の商標です。



ワンポイント

■ CDについて

- 下記のマークの付いた音楽用 CD や CD-R (CD-Recordable)、CD-RW (CD-ReWritable) が使用できます。(詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「ご使用になる前に」を参照してください。)



- 記憶部分に透明または半透明部分がある CD、C-thru Disc は、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- CD-R/RW は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていない CD-R/RW や、UDF フォーマットで書き込みされた CD-R/RW は再生できません。(MP3/WMA は除く)
- CD-TEXT 機能は市販の CD-TEXT 対応 CD のみ対応しています。CD-R や CD-RW では文字が正常に表示されない場合があります。
- CCCD (Copy Control CD) は正式な CD 規格に準拠していないため再生できない場合があります。



- スーパーオーディオ CD (SACD) は、ハイブリッドディスクの CD 層のみ再生できます。



- CD-EXTRA は音楽 CD として再生することができます。
- Mixed Mode CD のデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTS が混在の Mixed Mode CD は正常に再生されません。
- Video-CD は再生できません。

■ MDについて

- MD を入れるときは、MD の矢印を確認してから差し込んでください。



- MD の外周を指で触って「バリ」が無いことを確認してください。もし、バリがあったときは、取り除いてください。
バリが付いたまま差し込むと作動不良や故障の原因になります。

ディスク・“メモリースティック” の出し入れ



ワンポイント

■ “メモリースティック” について

- 下記のマークの付いた“メモリースティック”、“メモリースティック Duo”、または“マジックゲートメモリースティック”が使用できます。(詳しくは「取扱説明書 オーディオ編」-「ご使用になる前に」を参照してください。)



画像用

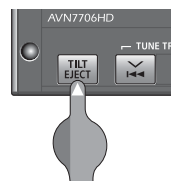
MAGICGATE

音楽および画像用

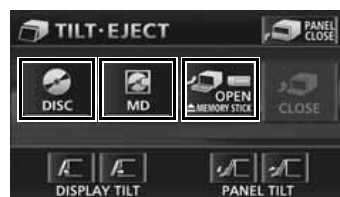
- 使用できる“メモリースティック”は下記になります。
 - ・メモリースティック (白色)
 - ・メモリースティック Duo (白色) ※1
 - ・メモリースティック (紺色：高速データ転送対応) ※2
 - ・メモリースティック Duo (紺色：高速データ転送対応) ※1・※2
- ※1 “メモリースティック Duo”を使用する場合は“メモリースティック Duo アダプター”を使用してください。
- ※2 高速データ転送 (パラレル) モードには対応していません。(従来の“メモリースティック” (白色) 互換の転送モードになります。)
- “メモリースティック PRO”には対応していません。
- 128MB までの容量の各“メモリースティック”に対応しています。
- “マジックゲート メモリースティック”のフォーマット (初期化) は、本機、または専用機器で行ってください。本機、または専用機器以外でフォーマットを行った場合、再生できません。
- “メモリースティック”、または“マジックゲート メモリースティック”をご使用時以外、必ず本機から取り出してください。
- “Memory Stick” (“メモリースティック”)  および “MagicGate Memory Stick” (“マジックゲートメモリースティック”)  はソニー株式会社の登録商標です。

各ディスク（DVD・CD・MD）および“メモリースティック”の出し方

- 1 **TILT/EJECT** を押します。



- 2
- DVD・CD を取り出すときは、**DISC** にタッチします。
（自動でディスクが押し出されます。）
 - MD を取り出すときは、**MD** にタッチします。
（自動で MD が押し出されます。）
 - “メモリースティック”を取り出すときは、**OPEN ▲ MEMORY STICK** にタッチして、“メモリースティック”を軽く押して（1 回）取り出します。



- 3 取り出し後、**CLOSE** にタッチします。
- **OPEN** を約 1 秒間 “ピッ” と音がするまで押してもディスプレイ部は閉じます。

ディスク・“メモリースティック” の出し入れ



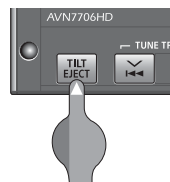
注意

- ディスクを取り出す際、下記に注意してください。
 - < A / T 車 > ディスクを取り出す際、P レンジで干渉する場合は、N レンジに切り替えてから操作してください。(コラム A / T の場合は P または N レンジで操作してください。)
 - < M / T 車 > ディスクを取り出す際、1・3・5・ ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- 各ディスク、または“メモリースティック”を取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイ部を閉じないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイ部を手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくで故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、各ディスクや“メモリースティック”を出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。

4 角度の調整

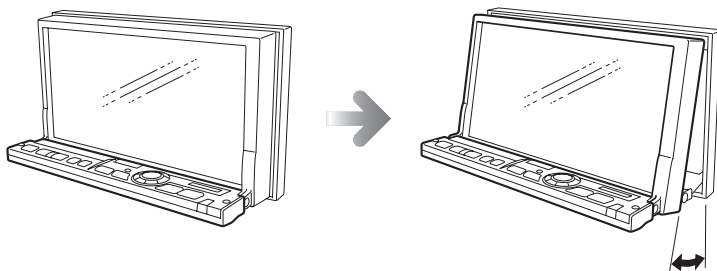
ディスプレイを好みの角度に調整しよう

- 1 **TILT/EJECT** を押します。



- 2 **DISPLAY TILT** (left arrow) または **DISPLAY TILT** (right arrow) にタッチします。

- **DISPLAY TILT** (left arrow) : タッチすることによりディスプレイが斜め下方向に1段階 (5°) ずつ傾きます。(最大6段階 30°)
- **DISPLAY TILT** (right arrow) : タッチすることによりディスプレイが傾いた状態から1段階 (5°) ずつもどります。



- 3 調整後、**TILT/EJECT** を押します。

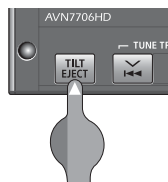


- ディスプレイ部を傾けた状態でも、ディスプレイ部を開くことができます。ディスプレイ部を閉じると、元の傾いた状態にもどります。
- ディスプレイ部を傾けた状態でエンジンスイッチを OFF にすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチを ACC または ON にしたときは、元の傾いた状態にもどります。

角度の調整

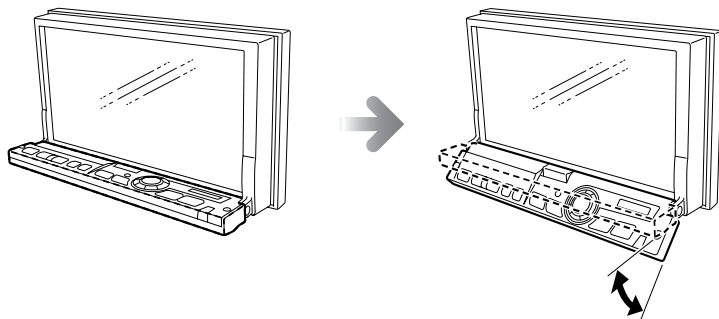
アクティブ・ウィングを好みの角度に調整しよう

- 1 **TILT/EJECT** を押します。



- 2 **PANEL TILT** (down arrow) または **PANEL TILT** (up arrow) にタッチします。

- **PANEL TILT** (down arrow) にタッチするとアクティブ・ウィングが斜め下方に1段階（10°）ずつ傾きます。
- **PANEL TILT** (up arrow) にタッチするとアクティブ・ウィングが傾いた状態から1段階（10°）ずつもどります。



- 3 調整後、**TILT/EJECT** を押します。



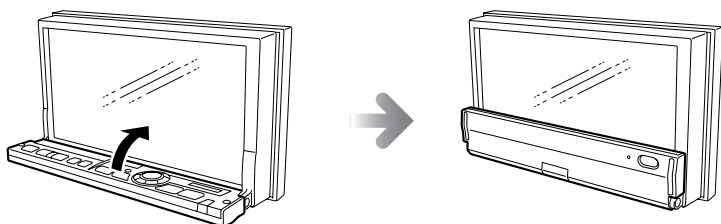
ワンポイント

アクティブ・ウィングを傾けた状態で、エンジンスイッチを OFF にすると、自動でアクティブ・ウィングは閉じます。次にエンジンスイッチを ACC または ON にしたときは、元の傾いた状態にもどります。

アクティブ・ウィングを閉じる

- 1 アクティブ・ウィングが開いているときに **PANEL CLOSE** にタッチします。

- アクティブ・ウィングは自動で閉じます。



- アクティブ・ウィングが閉じると、ディスプレイ部には音量調整画面が表示され、タッチスイッチで音量を調整することができます。
- **OPEN** を押すと、アクティブウィングが開き、最後に表示していた画面を表示します。



ワンポイント

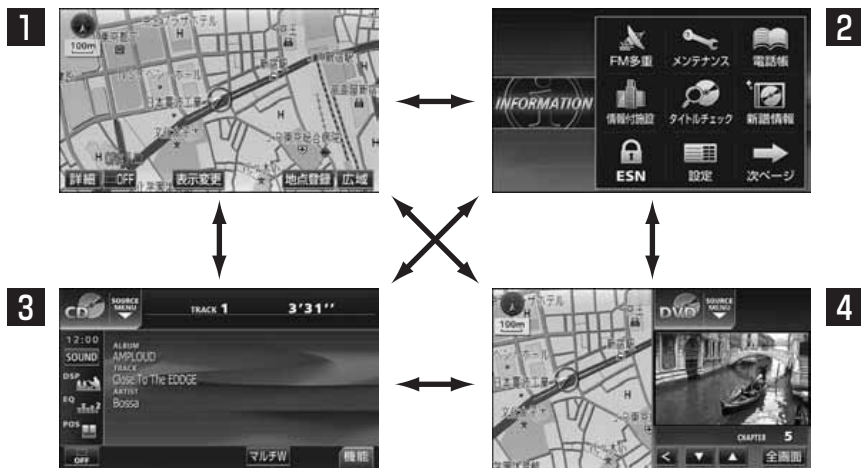
- ディスプレイ部、またはアクティブ・ウィングの角度調整をするときは手などをはさまないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイ部、またはアクティブ・ウィングの故障の原因になります。
- ディスプレイが TILT 状態のときに上部、または下部のすき間からディスクを差し込まないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイ部、またはアクティブ・ウィングの角度調整をする際、下記に注意してください。
 - < A/T 車 > チルト位置を設定する際、P または R、N レンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)
 - < M/T 車 > チルト位置を設定する際、1・3・5・ $\text{\textcircled{R}}$ ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定をしないでください。)
- オーディオが OFF のときには、音量調整画面にタッチしても音量は切り替わりません。
- ディスプレイが開いているときには、**PANEL CLOSE** にタッチしても操作できません。

5 本機のモードについて

各モードについて理解しよう

本機には大きく分けて「GPS ボイスナビゲーション」・「インフォメーション (情報)」・「オーディオ」・「マルチウィンドウ」の4つのモードがあります。

どのモードからでも、希望のモードに切り替えることができます。



	モード	主な機能
1	GPS ボイスナビゲーション	● 現在地の表示 ● 目的地の案内 ● 地点（自宅・メモリ地点）の登録など
2	インフォメーション (情報)	● FM 多重放送の受信 ● メンテナンス機能 ● 施設情報の検索 ● HDD (ハードディスクドライブ) のデータ管理など
3	オーディオ (ラジオ・CD・MD・ “メモリースティック”・ MUSIC JUKE・TV・DVD・ DTV・AUX・ CD チェンジャー・ MD チェンジャー・VTR)	● AM・FM 放送の受信 ● CD プレーヤーの操作 ● MD プレーヤーの操作 ● MP3/WMA プレーヤーの操作 ● 音楽用“メモリースティック”の操作 ● MUSIC JUKE の操作 ● TV 放送の受信 ● DVD の操作 ● DTV 放送の受信 (別売) ● AUX の操作 ● CD チェンジャーの操作 (別売) ● MD チェンジャーの操作 (別売) ● VTR 映像の表示 (別売)
4	マルチウィンドウ	● 2 モードの同時表示 (ナビゲーションとオーディオ画面など)

※ “メモリースティック” はソニー株式会社の登録商標です。

6 本機の作動条件について

各機能の作動状態について

本機の機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます ×：操作できません

エンジン スイッチ 各機能	OFF (LOCK)	ACC	ON 停車中	ON 走行中	ディスプレイが オープン状態
GPS ボイス ナビゲーション/ インフォメーション (情報)	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、 操作できなくなる 機能があります	×
オーディオ	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、 操作できなくなる 機能があります	×
FM 多重放送 (FM 多重文字情報)	×	○	○	走行中はご使用に なりません (一部の番組は 操作できます)	×
TV	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、音 声のみになります	×
DVD	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、音 声のみにとなります	×
マルチウィンドウ	×	○	○	走行中は安全上の 配慮などから、操 作できなくなる機 能があります。	×
ディスクおよび “メモリースティック” の出し入れ/ ディスプレイの角度調整	エンジン OFF 後はディスプ レイ部を閉じ ることができ ます	○	○	○	ディスプレイの 角度調整はでき ません

※ TV / DVD 画面は走行中、安全上の配慮などから音声のみにとなります。



ワンポイント

操作できないスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。

7 各モードの呼び出し

各モードを呼び出してみよう

次のスイッチを押すと各画面に切り替わります。

ナビゲーション画面

現在地 を押します。



インフォメーション（情報）画面

MENU を押し、
INFORMATION にタッチします。



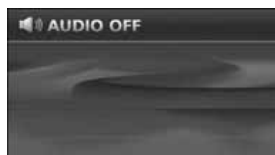
オーディオ操作画面

AV を押します。（作動時）^{*1}



（CD プレーヤー作動時）

（OFF 画面）^{*2}



マルチウィンドウ画面

マルチW を押します。



^{*1}：オーディオの機能が作動しているときに表示します。オーディオの操作については「取扱説明書オーディオ編」を参照してください。

^{*2}：オーディオの機能が OFF 状態時に表示されます。

オンスクリーン表示について

ナビゲーション画面表示中や画面が消えているときにオーディオまたはTV・DVD を操作（トラック選曲や周波数選局）すると、スクリーンが表示されます。スクリーン表示はしばらくすると自動で解除されます。



———スクリーン表示

1 地図の操作

自分の車の位置を確認しよう

現在地 を押して自分の車の現在地周辺を表示しましょう。



自車位置マーク

現在地と車が向いている方向が表示されます。車の走行に合わせて自動的に自車位置マークと地図が動きます。

現在地画面の見方

スケール表示

表示されている地図の縮尺が表示されます。
└─┘ の長さがこの場合は100mです。

GPS マーク

GPS 衛星からの絶対位置情報が利用されているときに、GPS が表示されます。



方位マーク

地図の方向が表示されます。

現在地の地名

現在地で **現在地** を押すと表示されます。

自車位置マーク



タッチスイッチ

画面によって各機能のスイッチが表示されます。

地図の操作

地図を動かしてみよう（ワンタッチスクロール）

地図に直接タッチして地図を動かしましょう。



スクロール中

地名表示
画面中心付近の地名が表示されます。



カーソルマーク
地図にタッチすると画面中心にカーソルマークが表示されます。

スクロール画面の見方

地名表示
地図の移動後、カーソルの位置の地名が約 6 秒間、表示されます。

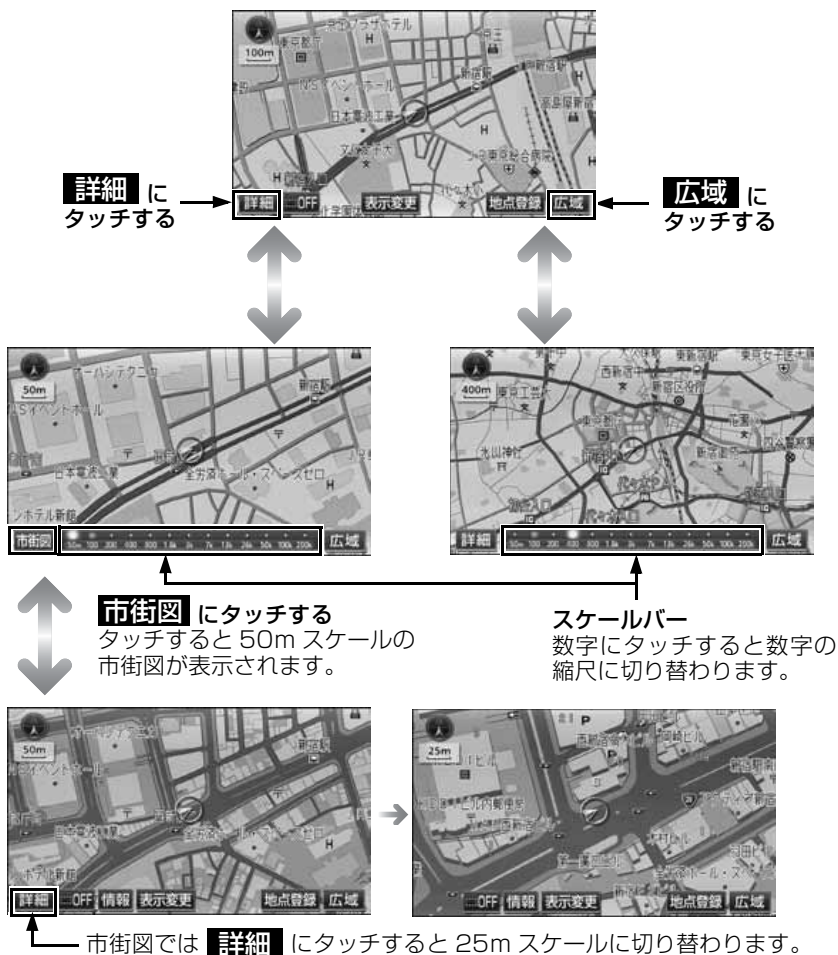


直線距離表示
自車位置マークからカーソルマーク中心までの直線距離が表示されます。

カーソルマーク
タッチし続けるとカーソルマークが ⊕ (黄色) になりスクロールが早くなります。

地図の縮尺を変えてみよう

タッチスイッチの **広域** にタッチすると、広い範囲が表示されます。**詳細** にタッチすると詳しい地図が表示されます。



詳細、**広域** にタッチするごとに 1 段階ずつ切り替わります。
詳細、**広域** を約 1 秒以上タッチし続けると、無段階*に切り替わります。
 (*市街図では切り替わりません)

地図の操作

地図の向きを変えてみよう

表示している地図の向きをノースアップ（つねに北が上になるような地図で表示されます）とヘディングアップ（車の進行方向がつねに上になるような地図で表示されます）に切り替えることができます。

方位マーク（、または ）にタッチすると、地図の向きが切り替わります。

ノースアップ表示

方位マーク表示



ヘディングアップ表示

方位マーク表示

北を示します（赤色）



地図の表示方法を変えてみよう

いろいろな状況に応じて地図の表示を変えることができます。
地図の表示方法には下記の4種類があります。

2D	通常の地図（2D）で表示します
2D ツイン	左右2つに分割した地図（2D）で表示します
3D	上空から見ているような立体的な地図（3D）で表示します
3D ツイン	左右2つに分割して左画面を立体的な地図（3D）で表示します

- ① **表示変更** にタッチします。



- ② **地図表示** にタッチします。



- ③ 希望の表示方法にタッチします。



表示している地図のタッチスイッチが明るくなっています。

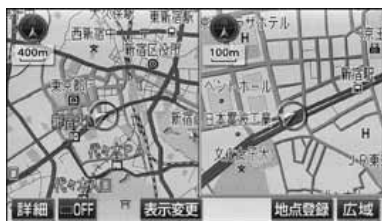
地図の操作

■ **2D** にタッチすると

通常の地図（2D）で表示します

■ **2Dツイン** にタッチすると

左右2つに分割した地図（2D）で表示します

■ **3D** にタッチすると

上空から見ているような立体的な地図（3D）で表示します

■ **3Dツイン** にタッチすると

左右2つに分割して左画面を立体的な地図（3D）で表示します



画面を左右2分割したときの右画面も操作することができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「2画面表示の切り替え」を参照してください。

地図にいろいろな施設のマークを表示しよう

表示している地図にいろいろな施設のマーク（ランドマーク）を表示することができます。

- 1 **表示変更** にタッチします。



- 2 **周辺施設** にタッチします。



- 3 **表示する施設名** にタッチします。

- 複数のランドマークや画面の6種類以外を表示することもできます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「施設の表示」を参照してください。



- 選んだ施設ランドマークが表示されます。



施設ランドマーク

2 場所の登録

自宅を登録しておこう

本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。

自宅を登録しておくと、ドライブ先から帰るとき簡単にルートを設定することができます。

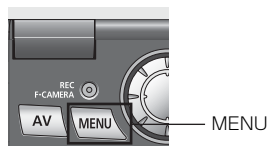
自宅にいるときは



ワンポイント

現在地 を押して、自宅付近の地図を表示してから操作してください。

- 1 **MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **メモリ地点** にタッチします。



- 3 **登録** にタッチします。



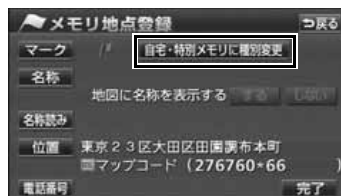
- 4 **先程の地図**、または **現在地周辺** にタッチします。



- ⑤ **セット** にタッチします。



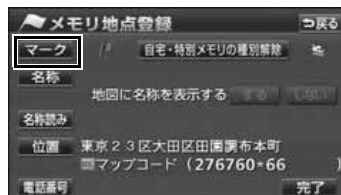
- ⑥ **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。



- ⑦ 自宅の **未登録** にタッチします。

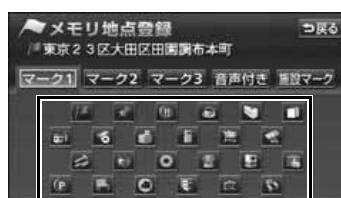


- ⑧ **マーク** にタッチします。



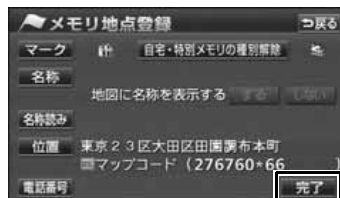
- ⑨ 地図に登録するマークにタッチします。

- **マーク2**、**マーク3**、**音声付き**、**施設マーク** にタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください。



場所の登録

- ⑩ **完了** にタッチします。

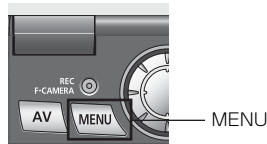


- ⑪ **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。

自宅以外にいるときは

- ① **MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② **メモリ地点** にタッチします。



③ **登録** にタッチします。



④ **住所** にタッチします。

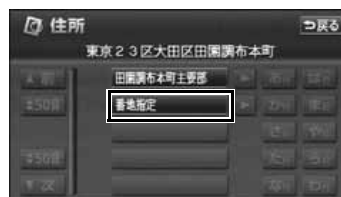


⑤ **都道府県**・**市区町村**・**町名**・**丁目(字)**の順にタッチします。

- **▲前**、**▼次**、**50音**、**50音**、**あ**～**わ** にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」・「リスト画面の切り替え方」を参照してください。

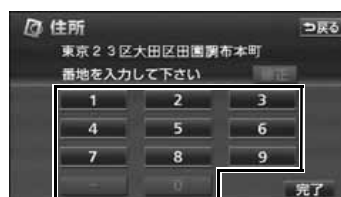


⑥ **丁目(字)** にタッチしたあと **番地指定** にタッチします。



⑦ 数字、または－(ハイフン)を1つつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つつ消去されます。



場所の登録

8 **完了** にタッチします。



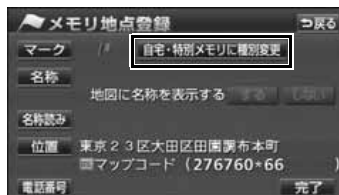
9 家屋のアイコンにタッチして自宅の位置に合わせます。



10 **セット** にタッチします。



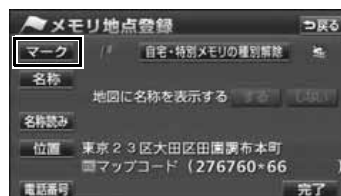
11 **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。



12 自宅の **未登録** にタッチします。

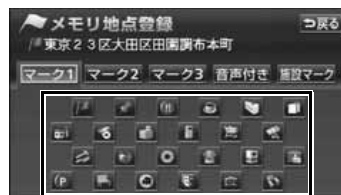


13 **マーク** にタッチします。

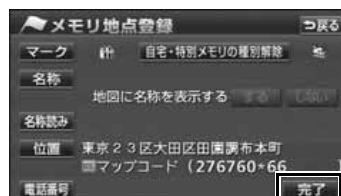


14 地図に登録するマークにタッチします。

- **マーク2**、**マーク3**、**音声付き**、**施設マーク** にタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください。



15 **完了** にタッチします。



16 **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。



場所の登録

お気に入りの場所を登録しよう

地図にお気に入りの場所を 400 カ所（自宅・特別メモリを含む）まで登録することができます。

場所を登録すると地図に旗（）などのマークを表示することができます。

地図から登録するには

① 地図にタッチしてマークを登録する場所に移動します。

- 現在地を登録するときは地図を移動する必要はありません。



② 地点登録 にタッチします。

- 地図を移動していないときは 、移動したときは  の位置を  マークで登録します。



③ 現在地 を押します。



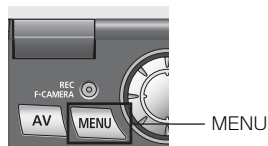
- 現在地を表示します。



離れた場所を登録するには

■ 兵庫県、姫路市の姫路城を登録する

- 1 **MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **メモリ地点** にタッチします。



- 3 **登録** にタッチします。



- 4 **50音・名称** にタッチします。



- 5 **文字入力** にタッチします。



場所の登録

6 ひ、め、し、ゝ、し、ゝ、
よ、う の順にタッチします。

7 変換 にタッチします。

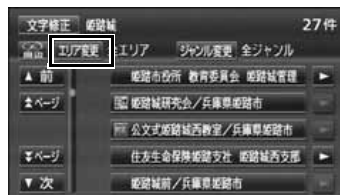
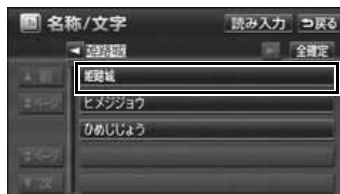
8 姫路城 にタッチします。

9 完了 にタッチします。

10 エリア変更 にタッチします。

- (A) 周辺、エリア変更 や ジャンル変更 から候補を絞り込んで探すことができます。

11 県別で探す にタッチします。



12 リストを切り替えて **兵庫県** にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。

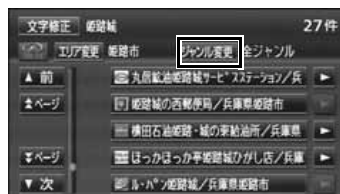


13 リストを切り替えて **姫路市** にタッチします。

- ▲前、▼次、▲50音、▼50音、あ～わ にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



14 **ジャンル変更** にタッチします。



15 **文化施設** にタッチします。

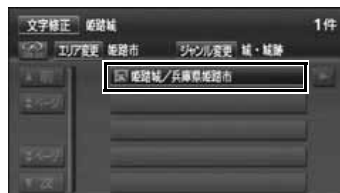


16 リストを切り替えて **城・城跡** にタッチします。



場所の登録

- ⑰ リストの **姫路城／兵庫県姫路市** にタッチします。

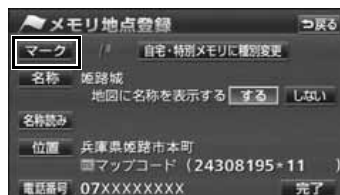


- ⑱ **セット** にタッチします。

-  にタッチすると地図を移動することができます。

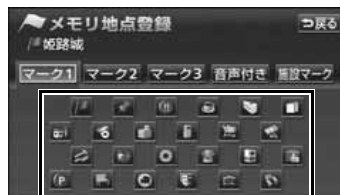


- ⑲ **マーク** にタッチします。



- ⑳ 地図に登録するマークにタッチします。

- **マーク2**、**マーク3**、**音声付き**、**施設マーク** にタッチすると、ちがうマークを選ぶことができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「メモリ地点のマークを変更する」を参照してください。



21 **完了** にタッチします。



22 **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。

場所の登録

新しい建物などを施設のマークで登録しよう

地図のデータに収録されていない、新しく建設されたコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどのマークを地図に登録して、表示することができます。

■ 新しいコンビニエンスストア（新しいコンビニ）に登録する

- ① 地図にタッチして  マークを登録する場所に移動します。



- ② **地点登録** にタッチします。

-  の位置を  マークで登録します。
- 登録した場所の地名が表示されます。



- ③  マークにタッチします。



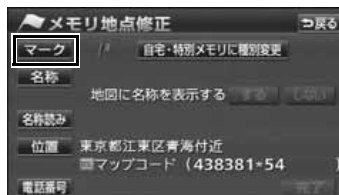
- ④ **情報** にタッチします。



5 **修正** にタッチします。



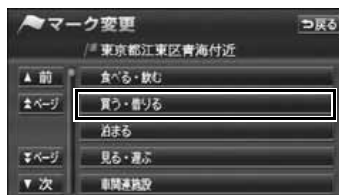
6 **マーク** にタッチします。



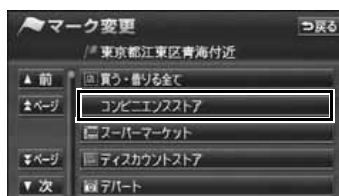
7 **施設マーク** にタッチします。



8 **買う・借りる** にタッチします。



9 **コンビニエンスストア** にタッチします。

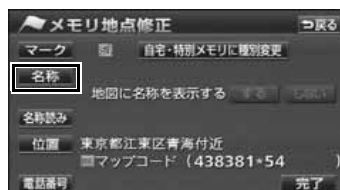
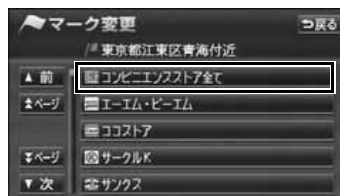


場所の登録

- ⑩ リストを切り替えて
コンビニエンスストア全て にタッチ
します。

- ▲前、▼次、▲ページ、▼ページ、店
にタッチすると、画面を切り替えることがで
きます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」
- 「リスト画面の切り替え方」を参照してくだ
さい。

- ⑪ **名称** にタッチします。

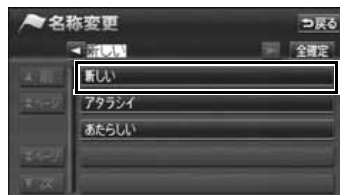


- ⑫ **あ、た、ら、し、い** の順に
タッチします。

- ⑬ **変換** にタッチします。



- ⑭ **新しい** にタッチします。



- ⑮ **カナ** にタッチします。



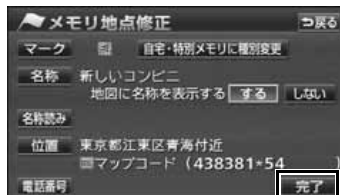
16 **コ**、**ン**、**ビ**、**ニ**の順にタッチします。

17 **完了**にタッチします。

18 **完了**にタッチします。

19 **現在地**を押します。

- 現在地を表示します。



施設マークを登録した地図画面

登録した名称を表示



登録した施設のマークを表示

3 ルート案内について

ルート案内を開始するには

行き先を指定すると、自動的に行き先までの道順（ルート）を探索します。これが「**ルート探索**」です。ルート探索が終わったら、探されたルートを行き先までのルートに決めます。これが「**ルート設定**」といいます。ルートを設定してドライブを開始すると、行き先までのルートを音声や状況に応じた画面で案内します。

この音声や画面による誘導を「**ルート案内**」といいます。

ルート探索(行き先を指定)

- ・地図スクロールで探す
- ・登録した場所から探す
- ・地図を呼び出して探す



ルート設定

- ・行き先までの道のりを確認
- ・希望のルートを選択
- ・立ち寄り場所の追加



ルート案内

- ・案内をスタート
- ・交差点等を案内
- ・高速道路等の料金・施設を案内



4 ルートの探索（行き先を指定）

行き先を決めてルート探索をしよう

行き先の情報を手がかりにして場所を探します。

- ① 地図を移動してすぐに探す場合……………「目的地セット」
- ② 自宅に帰る場合（自宅が登録されているとき）……………「自宅に帰る」
- ③ 行き先の施設ジャンル（駅・ゴルフ場・ホテルなど）が
わかっている場合……………「主要施設」
- ④ 行き先の電話番号がわかっている場合……………「電話番号」

ほかにも名前から探す「50音・名称」や郵便番号から探す「郵便番号」などもあります。

（詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「地図の呼び出し方法」を参照してください。）



①地図を移動したとき

③施設から探すとき



②自宅に帰るとき

④電話番号から探すとき

ルートの探索（行き先を指定）

地図を移動して探すには

- 1 地図にタッチして  マークを移動します。
- 2 **目的地セット** にタッチします。
- 3  にタッチして行き先の位置に合わせます。
- 4 **目的地セット** にタッチします。
 -  マークの位置に  マークが表示されます。
 - 現在地から  マークまでのルートが探索され全ルートが表示されます。



- 全ルートを表示

自宅に帰るには

- 1 **目的地** を押します。



- 2 **自宅に帰る** にタッチします。



- 現在地から自宅までのルートが探索され全ルートが表示されます。



ワンポイント

自宅が登録されていない場合は、「自宅が登録されておりません。自宅登録を行いますか? はい いいえ」と表示されます。**はい** にタッチするとメモリ地点登録画面が表示され、自宅の場所を検索・登録することができます。

ルートの探索（行き先を指定）

主要施設から探すには

■ 東京都の上野動物園を探す

- ① **目的地** を押します。



- ② **主要施設** にタッチします。



- ③ **その他** にタッチします。



- ④ リストを切り替えて **動植物園** にタッチします。



- ⑤ リストを切り替えて **東京都** にタッチします。



- ⑥ リストを切り替えて **上野動物園** にタッチします。



- ⑦ 上野動物園にタッチして地図を移動します。
- 位置を移動しないときは、⑧ の手順を操作します。



- ⑧ 目的地セットにタッチします。



- 現在地から行き先までのルートが探索され全ルートが表示されます。



- 全ルートを表示

ルートの探索（行き先を指定）

電話番号から探すには

- ① **目的地** を押します。

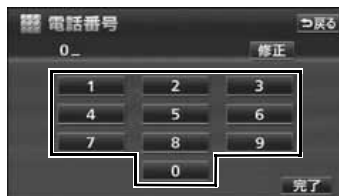


- ② **電話番号** にタッチします。



- ③ 市外局番から **数字** を 1 番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチして消去します。
- 市外局番と市内局番の入力のみときは、**完了** にタッチして、⑥ の手順を操作します。

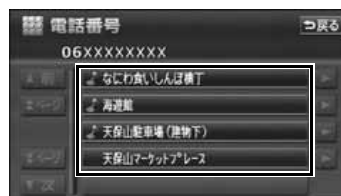


- ④ **完了** にタッチします。

- 入力した電話番号に該当する施設があるときは⑫ の手順を操作します。
- 入力した電話番号に複数の施設が該当するときは⑤ の手順を操作します。
- 入力した電話番号に該当する施設がないときは市外・市内局番に該当する地域の地図が表示され、⑥ の手順を操作します。
- 個人宅の電話番号を入力したときは、⑩ の手順を操作します。（地図データに収録されているときに限ります。）



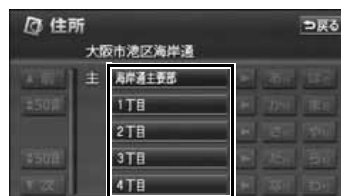
- ⑤ 該当する **施設名** にタッチします。
- 施設の地図が表示され⑫の手順を操作します。



- ⑥ **住所一覧** にタッチします。



- ⑦ 該当する **住所** にタッチします。
- 住所の地図が表示され⑫の手順を操作します。
 - 番地を入力して該当する番地がないときは⑧の手順を操作します。



- ⑧ **周辺住所** にタッチします。



- ⑨ 該当する **番地** にタッチします。
- 番地の地図が表示されます。



ルートの探索（行き先を指定）

⑩ 個人宅の名称（名字）を1文字ずつタッチして入力します。

- 該当する個人宅がないときは市外・市内局番に該当する地域の地図が表示され、**⑥**の手順を操作します。

⑪ 完了 にタッチします。

- 個人宅の地図が表示され、**⑫**の手順を操作します。

⑫ 目的地セット にタッチします。

- 現在地から行き先までのルートが表示されます。



- 全ルートを表示

5 ルートの設定

希望のルートを設定しよう

行き先を決定すると、現在地から行き先までの渋滞考慮ルートを探索して画面に表示します。

画面には行き先までの道を色塗りして、到着予想時間や料金、距離などが表示されます。これを**全ルート図表示**といいます。

全ルート図表示からはルートの道のりを確認したり、ほかのルートを選んだり、ルートの途中に立ち寄り場所を追加することもできます。



■ 表示について

① インターチェンジ (IC) 名称表示	有料道路を通るときは、インターチェンジ (IC) の入口 (下) と出口 (上) の名称が表示されます。
② 有料道路距離表示	通る有料道路の距離が表示されます。
③ 料金案内	通る有料道路の料金が表示されます。
④ 距離表示	行き先 (複数のときは最終目的地) までの距離が表示されます。
⑤ IC マーク	有料道路を通るときは、入口と出口のインターチェンジ (IC) の位置に表示されます。
⑥ 到着予想時刻表示	行き先への到着予想時刻が表示されます。
⑦ 残距離表示	行き先 (ルート) までの残りの距離が表示されます。



ワンポイント

渋滞統計データを考慮が **しない** に設定されているときは、推奨するルートが探索されます。(詳しくは、「取扱説明書ナビゲーション編」-「渋滞考慮ルート探索」を参照してください。)

ルートの設定

■ タッチスイッチについて

①	5ルート	ほかのルートを表示させ、選ぶことができます。(68ページ参照)
②	ルート変更	表示されているルートを変更することができます。また、行き先を追加したり、インターチェンジ (IC) を変更することができます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「探索ルートの変更」を参照してください。)
③	通過道路指定	地図にタッチすると表示されます。 通過道路指定 にタッチすると通過道路が指定できます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「通過道路の指定」を参照してください。)
④	案内開始 (案内開始後は、 案内に戻る)	案内を開始することができます。
⑤	情報	ルートの道のり(案内道路情報)を表示させることができます。(次ページ参照)
⑥	  インターチェンジ (IC) 名称	インターチェンジ (IC) の名称にタッチすると、インターチェンジ (IC) を変更することができます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「乗降インターチェンジ (IC) の指定」を参照してください。)
⑦	 到着予想時刻 / 残距離表示	行き先が2カ所以上あるときは、到着予想時刻 / 残距離表示にタッチすると、表示される行き先を切り替えることができます。(詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「到着予想時刻 / 残距離表示の切り替え」を参照してください。)



ワンポイント

- 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- 料金は設定したお車の車両寸法など(89ページ参照)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

ルートの道のりを確認しよう

- ① 全ルート図表示で、**情報** にタッチします。



- ② ▲ (または ▼) にタッチします。
 - 道路の種別の変り目などで道のりの情報を分割して表示します。
 - **地図** にタッチするとその場所の地図を表示します。



ルート情報画面の見方



ルートの設定

ほかのルートを選んでみよう

渋滞考慮ルート以外に有料道路優先ルート、一般道優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計 5 ルートを同時に表示して選ぶことができます。

① 全ルート図表示で、**5ルート** にタッチします。

- 5 つのルートを色分けして表示します。



② **全行程一覧表** にタッチします。

- **ルート名称** にタッチすると選んだルートの全ルート図を表示します。



③ 希望の **ルート名称** にタッチします。

① 全行程一覧表					戻る
探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間	
渋滞考慮	530km	455km	10950円	7時間18分	
有料優先	565km	562km	12300円	7時間23分	
一般優先	539km	0.0km		19時間47分	
距離優先	497km	157km	4650円	15時間20分	
別ルート	530km	455km	10950円	7時間18分	

- 選んだルートの全ルート図を表示します。

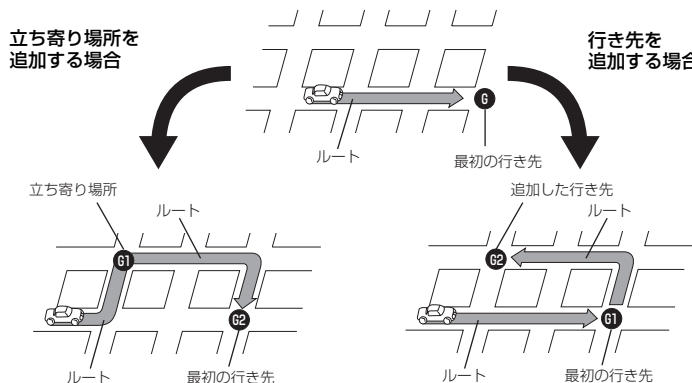


ワンポイント

各種設定の渋滞統計データを考慮が **しない** に設定されているときは、**渋滞考慮** が **推奨** の表示に切り替わります。(詳しくは、「取扱説明書ナビゲーション編」-「渋滞考慮ルート探索」を参照してください。)

ルートの途中に立ち寄り場所を追加してみよう

例えば、友人を迎えに行ってから行き先に行くときや、最初に決めた行き先の次に行き先を追加するなど、前もってルートを変更することができます。



- 1 全ルート図表示で **ルート変更** にタッチします。



- 2 目的地・通過目的地の **追加** にタッチします。



- 3 立ち寄り場所や追加する行き先を探す方法にタッチします。

- 行き先を探す方法については「取扱説明書ナビゲーション編」-「地図の呼び出し方法」を参照してください。



ルートの設定

- ④ 呼び出した地図で **目的地セット** にタッチします。



- ⑤ 追加する区間の **設定** にタッチします。

- 現在地から行き先までの間に設定すると立ち寄り場所になります。
- 行き先の次に設定すると次の行き先になります。
- 立ち寄り場所や追加の行き先は最大 5 カ所まで設定できますので、②～⑤ の手順の操作を繰り返してください。



- ⑥ **探索開始** にタッチします。



- ルートを変更した全ルート図が表示されます。



- 全ルートを表示

6 ルート案内

ルートの案内について

車をスタートさせると、車の動きに合わせて交差点・車線情報・道路形状・料金・高速道路情報などを設定された案内ポイントごとに画面を切り替えていきます。また、案内ポイントごとに音声でもわかりやすく案内します。

ルート案内中の現在地画面

走行する道路によって案内ポイントごとにいろいろな画面で案内します。

交差点の案内

現在地



分岐しない交差点に
近づくとき…



分岐する交差点の 700m 手前になると…

レーンリスト



① 分岐する交差点までに交差点の名称と車線の
レーンを案内します
(車線のレーン情報があるときに限ります。)

分岐する交差点の 300m 手前になると…

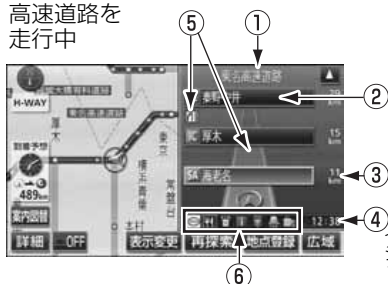
交差点拡大図



①	レーン(車線)表示	通過・分岐する交差点の車線が表示されます。
②	交差点名称表示	通過・分岐する交差点の名称が表示されます。
③	残距離表示	交差点までの距離が表示されます (交差点に近づくとともに  が短くなります。)

ルート案内

高速道路の案内

高速道路を
走行中

分岐の案内

インターチェンジや
ジャンクションの
1km 手前になると…

① 道路名称表示	表示している施設のある道路名称が表示されます。
② 施設名称表示	施設（SA・PA・IC）の名称が表示されます。
③ 距離表示	現在地からの距離が表示されます。
④ 通過予想時刻表示	選んだ施設（SA・PA・IC）の通過予想時刻が表示されます。
⑤ VICS マーク・表示	VICS 情報が受信されたとき、表示されます。（VICS マーク・表示については、87、88 ページを参照してください。）
⑥ 設備マーク表示	選んだ施設（サービスエリア・パーキングエリア）にある設備が最大 7 つまで表示されます。（設備が多い場合、表示されないマークもあります。）
⑦ 分岐点名称表示	インターチェンジの出口、またはジャンクションの方面名称が表示されます。
⑧ 残距離表示	分岐点までの距離が表示されます。（分岐点が近づくとともに ■ が短くなります。）

■ 案内画面の操作について

▼・▲、または **施設名** にタッチすると、選ばれた施設が切り替わります。

料金所や道路形状情報の案内

現在地画面

道路形状の
情報があると…

②

料金所に近づく…



①	道路 形状 表示	踏切		の警告マークが表示されます。
		急カーブ		
		合流道路		
		レーン		
②	料金表示	使用する有料道路の料金が表示されます。		

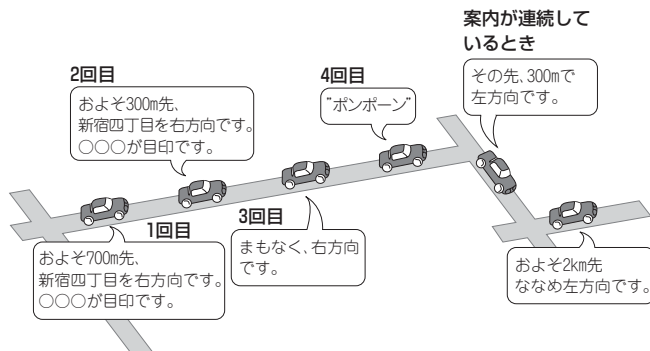
ルート案内

音声によるルートの案内

ルートの案内中は、道路の状況や車の速度に応じて、案内ポイントまでの距離などを音声でわかりやすく案内します。

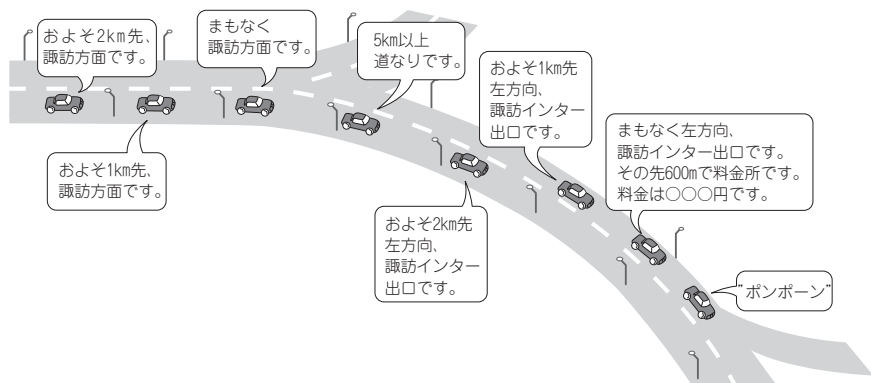
■ 一般道路を走行しているとき

車の速度に合わせ、交差点名や残りの距離、方向および目印（4 種類）を最大 3 回までその状況にあわせて、音声で案内します。



■ 高速道路を走行しているとき

インターチェンジやジャンクションのおよそ 2km 手前になると、音声で進行方向や方面を案内します。また、出口の料金所では料金と進行方向を音声で案内します。



ルート案内に沿って車をスタートしよう

- ① 全ルート図表示で、**案内開始** にタッチします。
- 現在地の画面が表示され、「○○○○実際の交通規制にしたがって走行してください。」の音声案内されます。



- ② 運転を開始してください。



ワンポイント

ルートから外れてしまったら

ルートから外れてしまっても、自動的に案内中のルートに戻るよう修正されます。
(自動再探索機能)

詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「自動再探索(ハイパーリルート)」を参照してください。

ルート案内

案内を途中で中止・再開しよう

案内を途中で中止したり、中止した案内を再開することができます。

- ① **MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



■ 案内を中止する

- ② **案内中止** にタッチします。

- 案内が中止されます。



- 地図のルートが消えます。(行き先の**G**マークは消えません。)



■ 案内を再開する

- ② 案内が中止のときは **案内再開** にタッチします。

- 案内が再開されます。



- 地図にルートが再び表示されます。



行き先を消去しよう

設定した行き先を消去することができます。また、ルート通りに行き先に着いても設定した **⑤** マークは消えませんが、下記の操作で消去してください。(ただし、新しく行き先を設定すると、前の **⑤** マークは消去されます。)

- 1 **目的地** を押します。



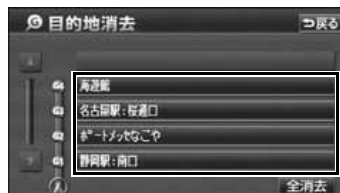
- 2 **目的地消去** にタッチします。

- 行き先が1つのときは **④** の手順を操作します。



- 3 消去する行き先の名称にタッチします。

- 全てを消去するときは **全消去** にタッチします。



- 4 **はい** にタッチします。

- 行き先を全て消去したときは、現在地を表示します。



- 5 **探索開始** にタッチします。

- 行き先が残っているときは残った行き先の全ルート図を表示します。

- 6 **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。



7 インフォメーション（情報）機能の操作

インフォメーション（情報）機能进行操作しよう

インフォメーション（情報）機能には、いろいろな便利な機能があります。例えば、施設の詳細な情報を表示したり、お車のメンテナンス情報を設定することができます。

ここでは、「スポットインフォメーション（情報付施設）」の操作を説明します。ほかの機能については「取扱説明書ナビゲーション編」-「インフォメーション（情報）機能」を参照してください。

情報付施設进行操作するには

■ 兵庫県の姫路城の詳細な情報を表示する

- 1 **MENU** を押します。



- 2 **INFORMATION** にタッチします。



- 3 **情報付施設** にタッチします。



- 4 **城・城跡** にタッチします。

- **文化** にタッチすると項目を切り替えることができます。



5 兵庫県 にタッチします。

- **▲前**、**▼次**、**▲50音**、**▼50音**、**あ～わ** にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。



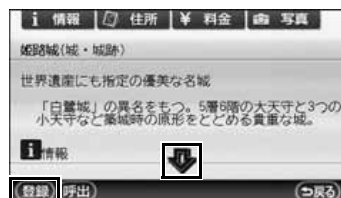
6 姫路城 にタッチします。

- **▲前**、**▼次**、**▲50音**、**▼50音**、**あ～わ** にタッチすると、画面を切り替えることができます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「リスト画面の切り替え方」を参照してください。

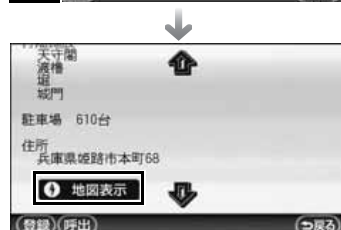


7 **↓** (または **↑**) にタッチして画面を移動します。

- **登録** にタッチすると、表示中のページを登録できます。



- **地図表示** にタッチすると地図が表示されます。



ワンポイント

地図画面からは **目的地セット** にタッチすると、行き先に設定できます。また、**地点登録** にタッチすると、その場所をメモリ地点に登録することができます。

8 VICS 機能の操作

渋滞情報を確認するには（VICS 機能）

突然の渋滞や事故、道路工事などで道路が混雑している場所や通行止めの位置などを確認することができます。

さらに混雑・渋滞を色分けして表示するので、ひとめで把握することができます。これが VICS 機能です。

VICS 機能の表示には、「文字表示」、「図形表示」、「地図表示」があります。



文字表示



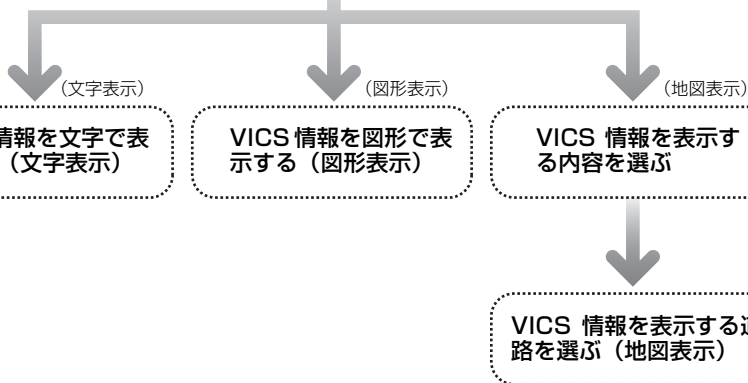
図形表示



地図表示

VICS 機能を表示するには次の手順で操作してください。

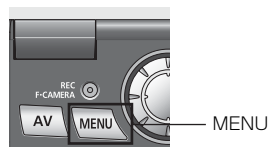
VICS 放送局を受信する※



※ 放送局については「取扱説明書ナビゲーション編」-「VICS 提供放送局の選択」を参照してください。

VICS の周波数を合わせよう

- 1 **MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **VICS** にタッチします。



- 3 FM 多重チューナー設定の **VICS** にタッチします。

- **CD情報** が選択されているときは、VICS 情報を受信できない場合があります。

- 4 **VICS選局** にタッチします。



■ 手動（マニュアル）で合わせる

※初期状態では **オート** に設定されています。

- 5 **マニュアル** にタッチします。



- 6 エリアから選ぶときは **都道府県** にタッチします。
周波数から選ぶときは **TUNE▼**、または **TUNE▲** にタッチします。

- 受信すると『受信中』を表示します。



VICS 機能の操作

7 **完了** にタッチします。8 **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。

■ 自動（オート）で合わせる

5 **オート** にタッチします。

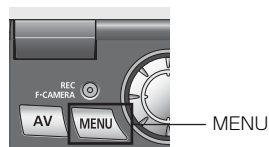
- 通常は **オート** で使用してください。
- 受信すると『受信中』を表示します。

6 **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。

文字・図形情報を表示しよう

- 1 **MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **VICS** にタッチします。



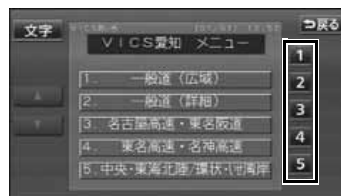
- 3 **FM図形**、または **FM文字** にタッチします。



- 4 表示する番号にタッチします。



●文字情報のとき



●図形情報のとき

VICS 機能の操作

5 ▲・▼、または **自動送り** にタッチして表示を切り替えます。

- 文字情報のとき、図形情報に切り替えるときは **図形** にタッチします。
- 図形情報のとき、文字情報に切り替えるときは **文字** にタッチします。



● 文字情報のとき



● 図形情報のとき

6 **現在地** を押します。



- 現在地を表示します。



地図に VICS 情報を表示しよう

- 1 **表示変更** にタッチします。



- 2 **VICS・交通データ** にタッチします。



- 3 **表示設定** にタッチします。



- 4 **VICS の表示する内容にタッチします。**

渋滞・混雑 …渋滞・混雑情報の表示

空き道 …空いている道の情報の表示

規制情報 …事象・規制情報の表示

駐車場 …駐車場情報の表示

道路種別表示 …道路種別を色分けして表示

設定時の道路色 : 高速道・有料道は紫、国道は赤、主要地方道路は緑、県道は橙色で表示

非設定時の道路色 : VICS 対象一般道を緑、VICS 対象高速道を紫、それ以外を灰色で表示



VICS 機能の操作

5 **完了** にタッチします。



6 **表示変更** にタッチします。



7 **VICS・交通データ** にタッチします。



8 表示する道路の種類にタッチします。

- **非表示** にタッチするとVICS情報は表示されません。



VICS 画面の見方について

駐車場、SA・PA 情報
駐車場やサービスエリア
の情報が表示されます



渋滞情報



タイムスタンプ
VICS情報を受信した時
刻が表示されます

VICS 09:57 VICS 情報を受信中のとき

VICS VICS 情報を未受信のとき

渋滞情報

赤色…渋滞

橙色…混雑

水色…空いている道

先頭



ワンポイント

渋滞情報は表示している地図のスケールによって、矢印表示にならないことがあります。

VICS 機能の操作

地図に表示される VICS 表示マークについて

VICS 情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表示	情報内容
	事故
	故障車
	路上障害
	注意
	注意（地震警戒宣言）
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止

表示	情報内容
	駐車場 空
	駐車場 満
	駐車場 混雑
	駐車場 不明
	駐車場 閉鎖
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口規制
	出口規制
	速度規制 30 km /h
	SA PA 情報 空
	SA PA 情報 満
	SA PA 情報 混雑
	SA PA 情報 不明
	イベント

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して 1 つのマークで表示することがあります。

9 その他の設定

お車の情報（ナンバープレートの分類、車両寸法）を登録しよう

お車のナンバープレートの分類や車両寸法を登録しておくで案内時の料金の計算や、施設周辺の駐車場を探すときの基準となります。（行き先を指定しているときは、お車の情報を登録できません。）

- 1 **MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- 2 **各種設定** にタッチします。



- 3 **その他** にタッチします。

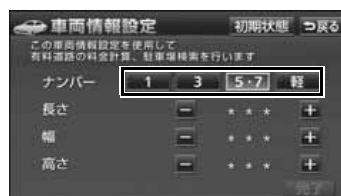


- 4 車両情報設定の **変更する** にタッチします。

- 行き先が設定されていると、タッチできません。



- 5 ナンバープレートの分類（**1**・**3**・**5・7**・**軽**）にタッチします。



その他の設定

⑥ 車両寸法の **－**・**＋** にタッチして、入力します。

⑦ 入力後、**完了** にタッチします。



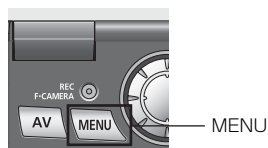
⑧ **現在地** を押します。

- 現在地を表示します。

ナビゲーションの画面に時計を表示するには

GPS 時計を地図画面に表示することができます。

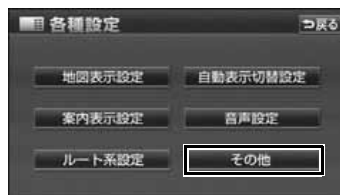
- ① **MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



- ② **各種設定** にタッチします。



- ③ **その他** にタッチします。



- ④ 時計表示の **する** にタッチします。



その他の設定

5 **完了** にタッチします。

時計表示

- 画面の下に時計が表示されます。



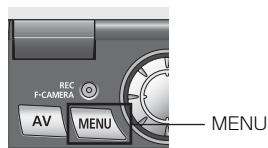
ワンポイント

時計表示の時刻は、GPS 電波を利用していますので、時刻調整はできません。(自動調整)

ナビゲーションの音量を調整しよう

操作の手引きを説明する音声やルート案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

- ① **MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。

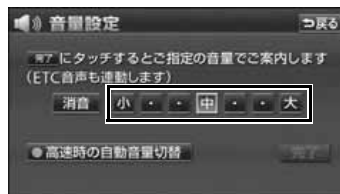


- ② **音量設定** にタッチします。

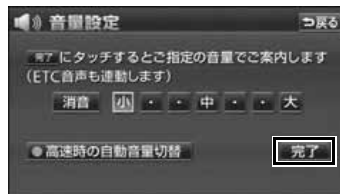


- ③ 希望の **小** ~ **大** にタッチします。

- **消音** にタッチすると、音声案内などが聞こえなくなります。



- ④ **完了** にタッチします。



ワンポイント

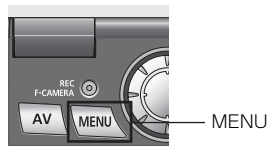
パネルスイッチで音量の調整（ラジオの音量調整など）をしても、ナビゲーションの音量は変わりません。上記の手順で、好みの音量に調整してください。

その他の設定

ナビゲーション音声の出力位置を切り替えよう

ルート案内中の音声案内など、ナビゲーション音声を出力するスピーカの位置を前席左側、または前席右側に設定することができます。

- ① **MENU** を押します。



- ② **INFORMATION** にタッチします。



- ③ **設定** にタッチします。



- ④ **次ページ** にタッチします。



- ⑤ ナビ音声設定の **左側スピーカー**、または **右側スピーカー** にタッチします。
- ⑥ **設定完了** にタッチします。



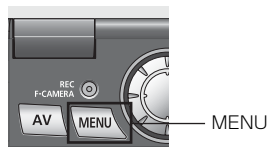
ワンポイント

ルート案内中にナビゲーション音声の出力位置を切り替えると、現在のルート案内が終了するまで音声案内などが聞こえなくなります。(新しく目的地を設定すると、音声案内などを聞くことができます。)

その他の設定

ラジオアンテナを下げよう

- ① **MENU** を押します。



- ② **INFORMATION** にタッチします。



- ③ **設定** にタッチします。



- ④ **次ページ** にタッチします。

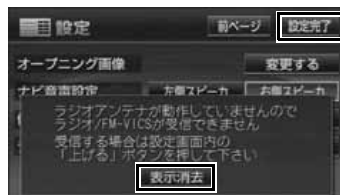


- ⑤ ラジオアンテナの **下げる** にタッチします。



- ⑥ **表示消去** にタッチします。

- ⑦ **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

ラジオアンテナを下げたままエンジンスイッチを OFF にした場合、次にエンジンスイッチを ACC または ON にしてもラジオアンテナは下がったままになります。ラジオアンテナを上げるときは、設定画面でラジオアンテナの **上げる** にタッチしてください。

その他の設定

ナビゲーションの画面を消すには

ナビゲーションを使わないときなどに地図画面を表示しなくすることができます。

- 1 **マルチW**（画質）を“ピッ”と音がなるまで押して、画質調整画面を呼び出します。



- 2 **画面消** にタッチします。
- 画質調整画面からはコントラストや明るさなどが調整できます。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「画面の調整」を参照してください。



- 3 **現在地** を押すと、ナビゲーションの画面にもどります。



現在地を補正するには

本機は基本的に、地図の自転車位置マーク(△)がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)

GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

次のようなときは補正を行うことが必要です。

- タイヤを交換したとき…自動補正を行ってください。(距離の補正)

また、次のようなときも補正を行うことができます。

- 実際の現在地と異なる場所に自転車位置マーク(△)が表示されている(自転車位置マーク(△)がずれている)とき…自転車位置マーク(△)の位置と向いている方向を修正することができます。(現在地の修正)
- 走行中、地図の自転車位置マーク(△)の進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき…自転車位置マーク(△)の進み方を修正することができます。(距離の補正)

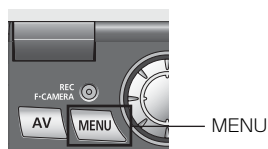
現在地の修正



ワンポイント

800m スケール図以下の詳細な地図で補正することができます。

- 1 **MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。

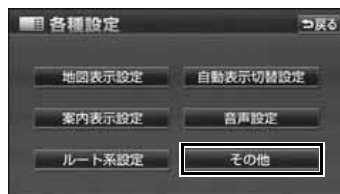


- 2 **各種設定** にタッチします。



その他の設定

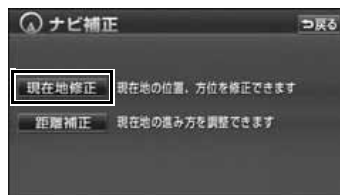
- ③ **その他** にタッチします。



- ④ ナビ補正の **補正する** にタッチします。



- ⑤ **現在地修正** にタッチします。



- ⑥ 上矢印にタッチして実際の現在地に地図を動かします。



- ⑦ **セット** にタッチします。



⑧ 、または  にタッチして方向を設定します。

- 方向を反時計まわりに動かすときは 、時計まわりに動かすときは  にタッチします。

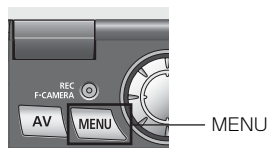
⑨ **セット** にタッチします。



その他の設定

距離の補正

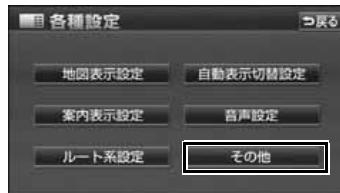
- ① **MENU** を押して、メニュー画面を呼び出します。



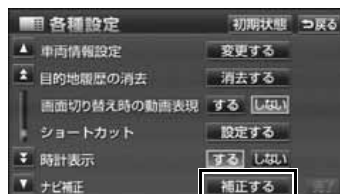
- ② **各種設定** にタッチします。



- ③ **その他** にタッチします。

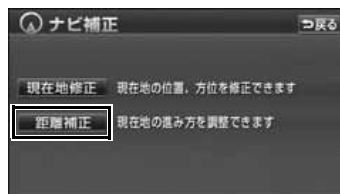


- ④ ナビ補正の **補正する** にタッチします。



- ⑤ **距離補正** にタッチします。

- 自動補正、または手動補正を行います。



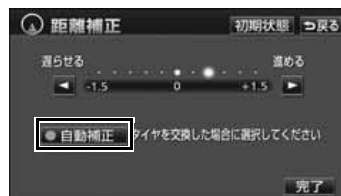
ワンポイント

初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。

■ 自動補正するとき

⑥ 自動補正 にタッチします。

- 自動補正中はタッチスイッチがトーンダウンします。
- GPS 情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了します。



ワンポイント

- 補正できないときは、販売店で点検を受けてください。
- 自動補正中は自車位置がずれることがあります。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自車位置マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。
- 本機は、GPS と車速信号により、自動で距離の補正（自動補正）をしています。自動補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、本機を別のお車に取り付けたときなど）には、距離の補正が遅れることがあります。この場合は、GPS 電波の受信状態が良好な道路を約 10km 走行してください。

その他の設定

■ 手動補正するとき



ワンポイント

- 自動補正中は、手動補正をすることはできません。
- **初期状態** にタッチすると、手動補正の設定が初期設定の状態にもどります。

- ⑥ 自車位置マーク  の進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは  (進める)、早く進むときは  (遅らせる) にタッチします。

- 最も進めると 、最も遅らせると  の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

- ⑦ **完了** にタッチします。



1 オーディオソースの切り替え

オーディオのソースを切り替えよう

CD ソースに切り替えるには

- 1 **AV** を長く (1 秒以上) 押します。
- SOURCE MENU 画面が表示されます。



- 2 **DISC** にタッチします。

- 聞きたいソースにタッチすると、タッチしたソースがスクリーン表示されます。
- オンスクリーン表示は自動で消えます。(詳しくは 32 ページを参照してください。)



ワンポイント

- **DTV** は地上デジタル TV チューナーが接続されている場合に表示されます。
- **CD CHANGER**、**CD CHANGER 2** は CD チェンジャーが接続されている場合に表示されます。
- **MD CHANGER** は MD チェンジャーが接続されている場合に表示されます。
- ディスクや“メモリースティック”の入れ方については 19 ページを参照してください。
- **DISC** にタッチすると、現在プレーヤーに入っているディスクを再生します。



● オンスクリーン表示画面

オーディオソースの切り替え

操作画面を表示させるには

- ① **AV** を押します。



- 操作画面が表示されます。
- 各ソースの操作画面は、108 ページのように表示されます。



● CD 操作画面

簡単にソースを切り替える

オーディオ・DVD・TV・VTR・DTV 操作画面から簡単に SOURCE MENU 画面を表示することができます。

- 1 オーディオ・DVD・TV・VTR・DTV 操作画面で、SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。

- SOURCE MENU 画面が表示されます。



- 2 **AM** (お好みのソーススイッチ) にタッチします。

- AM の操作画面が表示されます。
- **▲** にタッチすると、もとの操作画面にもどります。



オーディオソースの切り替え

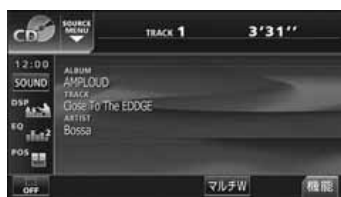
■ AM 操作画面



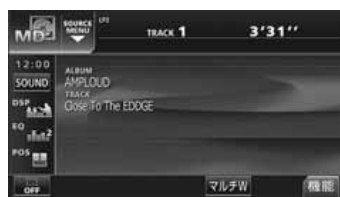
■ FM 操作画面



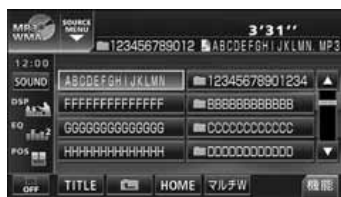
■ CD 操作画面



■ MD 操作画面



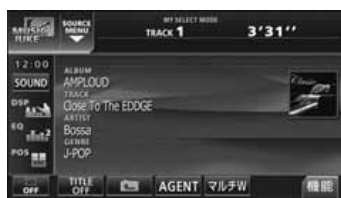
■ MP3/WMA 操作画面



■ MEMORY STICK プレーヤー操作画面



■ MUSIC JUKE 操作画面



■ TV 操作画面



■ DVD 操作画面



■ CDチェンジャー操作画面 (別売)



■ MDチェンジャー操作画面 (別売)



■ DTV 操作画面 (別売)



■ VTR 操作画面 (別売)



■ AUX 操作画面



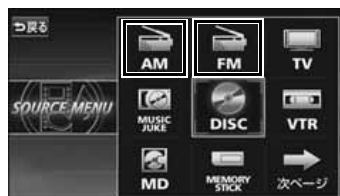
オーディオの操作画面を表示後、自動でナビゲーション画面などに切り替えることができます。詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「画面の調整・設定」を参照してください。

2 ラジオの操作

ラジオを聞くには

ソースをラジオにする

- 1 SOURCE MENU 画面で、**AM**、または**FM** にタッチします。



よく聞く放送局を記憶させる

- 1 **△/▶▶**、**▽/◀◀** を押します。

- 手動選局 軽く押すと、1 ステップずつ切り替わります。
- 自動選局 "ピップ" と音がするまで押すと、自動で選局します。



チューニング
スイッチ

- 2 プリセットスイッチを "ピーツ" と音がするまでタッチします。

- プリセットスイッチにタッチすると、記憶させた放送局に切り替わります。



プリセットスイッチ

自動で放送局を探して記憶させる

■ AUTOプリセット機能を使う

受信可能な放送局を探して、一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能です。必要が無くなれば、簡単にもとの記憶させていた放送局に切り替えることができます。

① **機能** にタッチします。

- 機能スイッチを表示します。



② **AUTO.P** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- もう一度、**AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。
- ▼ にタッチすると、機能スイッチを収納します。
- 機能スイッチを表示している場合は、機能スイッチ以外のタッチスイッチ操作はできません。



ラジオを止める

① **電源** を押します。

- もう一度押すと、最後に受信していた放送局を再受信します。



3 CD・MP3/WMA・MD の操作

CD・MP3/WMA ファイル・MD を聞くには

CD・MP3/WMA・MD を再生する

■ ディスクが差し込まれていないとき

- ① 差し込み口にディスクを差し込み、ディスプレイ部を閉じます。
- 自動で再生を始めます。



ワンポイント

- 音楽 CD (アルバム) を差し込み、再生が始まると、自動で録音 (4 倍速) を開始します。録音中は “● REC” マークおよび、進捗バーを表示します。
REC/F-CAMERA を 1 秒以上押すと、録音は停止します。詳しくは「**MUSIC JUKE の操作**」117 ページを参照してください。
- 4 倍速で録音されますが、スピーカーからは等倍速 (通常の速さ) で音楽が出力されます。

■ ディスクが差し込まれているとき

- ① **SOURCE MENU** 画面で、**DISC**、または **MD** にタッチします。



聞きたい曲または音楽ファイルを選ぶ

- ① **△/▶▶**、**▽/◀◀** を押します。

- CD 再生時は次の曲に切り替わり、MP3/WMA 再生時は次の音楽ファイルに切り替わります。



選曲・頭出し
スイッチ

簡単にフォルダや音楽ファイルを選ぶ (MP3/WMA ファイル)

本機は、MP3/WMA で圧縮された音楽データを再生することができます。音楽データ収録時に、音楽の種類ごとにフォルダで管理すると聞きたい曲を探し出すときに便利です。

- ① フォルダ名、または音楽ファイル名のタッチスイッチにタッチします。
- フォルダにタッチすると、フォルダの中に収録されているデータを表示します。音楽ファイルにタッチすると、タッチした音楽ファイルを再生します。
- **TITLE** にタッチすると、再生している音楽に収録されているファイル情報 (アルバム名や曲のタイトル) を表示することができます。



TITLE OFF ↑ **TITLE** ↓
にタッチ にタッチ



ワンポイント

- 同じフォルダ内に音楽ファイルが9個以上ある場合は、▲、▼ にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。(走行中は操作できません。)
- ファイル情報 (アルバム名や曲のタイトル) は、MP3/WMA ディスクの作成方法により表示できない場合があります。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「MP3/WMA プレーヤーの操作」を参照してください。

CD・MP3/WMA・MDの操作

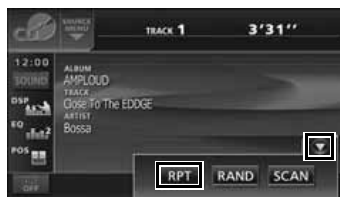
同じ曲を繰り返し再生する

① **機能** にタッチします。

- 機能スイッチを表示します。

② **RPT** にタッチします。

- ▼ にタッチすると、機能スイッチを収納します。
- 機能スイッチを表示している場合は、機能スイッチ以外のタッチスイッチ操作はできません。

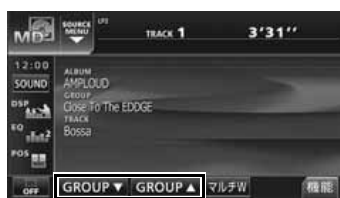


聞きたいグループを選ぶ (MD プレーヤー)

MDLP 方式で録音された MD は、録音状態によって、“LP4 (4 倍モード)”、“LP2 (2 倍モード)” を表示します。また、MDLP 方式で録音し、グループを作成している場合は、グループを選ぶことができます。

① **GROUP▲**、または **GROUP▼** にタッチします。

- 選んだグループの最初の曲を再生します。



再生を止める

① **POWER** を押します。

- もう一度押すと、最後に再生していた曲または音楽ファイルを再度再生します。
- CD を 4 倍速録音しているときに **POWER** を押しても録音は継続されます。



4 “メモリースティック” プレーヤーの操作

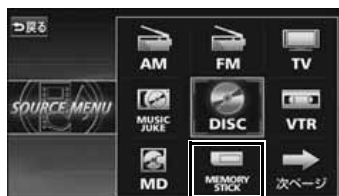
“メモリースティック” 内の音楽データを聞くには

“マジックゲートメモリースティック”（白、または紺）に記録された音楽データを再生することができます。

“メモリースティック” を再生する

■ “マジックゲートメモリースティック” が差し込まれていないとき

- 1 差し込み口に“マジックゲートメモリースティック”を差し込み、ディスプレイ部を閉じます。
 - 2 SOURCE MENU 画面で、**MEMORY STICK** にタッチします。
- 再生を始めます。



聞きたい音楽データを選ぶ

- 1 **△/▶▶**、**▽/◀◀** を押します。



選曲・頭出し
スイッチ

同じ曲を繰り返し再生する

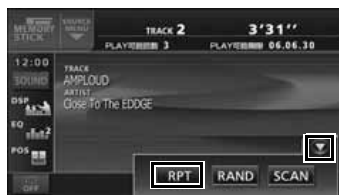
- 1 **機能** にタッチします。

- 機能スイッチを表示します。



- 2 **RPT** にタッチします。

- **▽** にタッチすると、機能スイッチを収納します。
- 機能スイッチを表示している場合は、機能スイッチ以外のタッチスイッチ操作はできません。



“メモリースティック” プレーヤーの操作

再生を止める

①  を押します。

- もう一度押すと、最後に再生していた音楽データを再度再生します。



5 MUSIC JUKE の操作

MUSIC JUKE について

MUSIC JUKE は、内蔵の CD プレーヤーや MD プレーヤー、TV、ラジオから音楽・音声を録音することができます。また、録音した音楽に、アルバム名やアーティスト名、ジャンルなどの名称を自動で付けるオートタイトリング機能により、聞きたい曲を、アルバム名やアーティスト名、ジャンルなどから簡単に探し出すことができます。

録音について

■ 録音できるオーディオのソースと録音モード

録音可能なソース	録音モード
CD プレーヤー	デジタル録音
CD プレーヤー（デジタル録音が禁止されている CD の場合）、MD プレーヤー、TV（音声）、VTR（音声）、ラジオ、CD チェンジャー、MD チェンジャー	アナログ録音

■ 録音モードと操作

録音モード		操 作
デジタル録音	AUTO	CD を差し込むと、自動で 4 倍速録音※を開始
	SELECT	REC/F-CAMERA を押し、選曲してから 4 倍速録音※を開始
アナログ録音	—	REC/F-CAMERA を押すと等倍速録音を開始

※録音は 4 倍速、再生は等倍速

デジタル録音中にソースを切り替えたり、オーディオを OFF にしても録音は継続されます。

MUSIC JUKE の操作

録音画面の見方

録音中は下記の画面を表示します。



ワンポイント

録音が完了した後や録音を手動で停止した後も他のソースに切り替えるまでは、“ATRAC3”が表示され続けます。

オートタイトリング機能について

本機は、あらかじめ約 23 万タイトルの音楽情報（アルバム名やアーティスト名、曲タイトルなど）をデータベースとして収録しています。音楽 CD をデジタル録音すると、自動で、データベースから音楽情報を検索し、「Gracenote CDDB[®] 音楽認識サービス」（詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKE の操作」参照）により、該当するアルバム名やアーティスト名、曲タイトルなどの音楽情報を付与します。また、メディアクリックデータベース（MCDB）に該当するデータがある場合は、MUSIC JUKE 楽曲エージェント機能により、カテゴリ別で選曲するためのカテゴリ情報も付与します。

■デジタル録音時、該当する情報がある



- アルバム名のリストを作成
- アーティスト名のリストを作成
- 曲名のリストを作成
- ジャンルのリストを作成

■デジタル録音時、該当する情報がない

■アナログ録音時



- アルバム名として
CD/ALBUM/0001 ※¹ のリストを作成
- 曲名として
CD/Track 01 ※² のリストを作成

※¹：オーディオのソース /ALBUM/4 桁の番号

※²：録音したオーディオソース /Track 2 桁の番号（2 桁の番号は CD と同じトラック番号になります）

■デジタル録音時、データベースの検索が完了していない



- アルバム名として
NO TITLE 0001 ※¹ のリストを作成
- トラック名として
NO TITLE 0001 ※² のリストを作成

※¹：MUSIC JUKE 内で順に付与される番号

※²：プレイリスト内で順に付与される番号

NO TITLE のトラックを再生しようとする、データベースを検索し、該当する情報がある場合、付与します。

MUSIC JUKE の操作

操作画面の見方

■ 再生画面



TITLE ↑ ↓ **TITLE OFF**



■ プレイモード選択画面



■ プレイリスト選択画面



1 つ上の階層画面を表示します。
(次ページ参照)

AGENT

カテゴリ選択画面を表示します。

機能

機能スイッチ表示画面を表示します。

- ・ **設定** 録音モードの切り替えや録音ビットレートの切り替えなどができます。
- ・ **編集** 名称編集やオリジナルプレイリストを作成することができます。

(詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKE の操作」を参照してください。)

プレイモードスイッチ※

リストが収録されているグループを切り替えるスイッチです。

<例>アルバム名で検索する場合は、

ALBUM にタッチします。

※マイセレクトは、お好みに合わせて、作成したオリジナルリストが収録されます。(詳しくは、「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKE の操作」を参照してください。)

プレイリストスイッチ

各プレイモードに収録されているリスト名称を表示します。

■ トラック選択画面



トラック名称（曲名）スイッチ

各プレイリストに収録されているトラック名称（曲名）を表示します。聞きたいトラック名称（曲名）にタッチすると、再生を始めます。

■ AGENT（カテゴリ）選択画面



AGENT スイッチ

録音されているトラック（曲）をシチュエーションや年代など、カテゴリで選曲できる AGENT 選択画面を表示します。

画面の表示方法については、「聞きたいトラック（曲）を選ぶ」124 ページを参照してください。

MUSIC JUKE の操作

MUSIC JUKE に録音するには

ここでは、内蔵の CD プレーヤーから音楽 CD を録音する方法を説明します。

自動で録音する

デジタル録音モードを AUTO に切り替えてから操作します。

- ① 差し込み口に CD を差し込み、ディスプレイ部を閉じます。
- 4 倍速で録音を開始します。
スピーカーからは、通常の速さで音声出力されます。
- 録音が完了すると、自動で録音を終了します。
再生は継続します。



お好みのトラックを録音する

デジタル録音モードを SELECT に切り替えてから操作します。

- ① **REC/F-CAMERA** を 1 秒以上押します。



- ② 録音するトラック (曲) を選びます。

- ③ **開始** にタッチします。

- 4 倍速で録音を開始します。
スピーカーからは、通常の速さで音声出力されます。
- 録音が完了すると、自動で録音を終了します。
再生は継続します。(録音が完了した曲のみ)



ワンポイント

録音中の再生音は、MUSIC JUKE に録音された音のため、CD 再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」を参照してください。

録音を途中で停止する

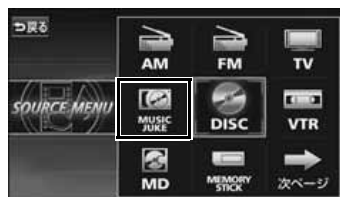
- 1 録音中に **REC/F-CAMERA** を 1 秒以上押します。



デジタル録音モードを切り替える

デジタル録音方式を AUTO (自動) から SELECT (手動) に切り替えることができます。

- 1 **SOURCE MENU** 画面で、**MUSIC JUKE** にタッチします。



- 2 **機能** にタッチします。



- 3 **設定** にタッチします。



- 4 **SELECT** にタッチします。

- 5 **戻る** にタッチします。



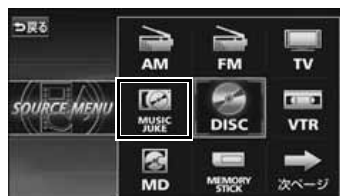
MUSIC JUKE の操作

MUSIC JUKE を聞くには

MUSIC JUKE を再生する

① SOURCE MENU 画面で、
MUSIC JUKE にタッチします。

- 前回、MUSIC JUKE を再生していた場合は、最後に聞いたトラック（曲）の停止したところから再生を始めます。



聞きたいトラック（曲）を選ぶ

ここでは、プレイリストやトラックをリスト表示しながら、聞きたいトラック（曲）を選ぶ方法について説明します。

① 再生画面で にタッチします。② **PLAY MODE** にタッチします。

- プレイモードのタッチスイッチを表示します。



③ 再生したいプレイモードにタッチします。

- **▶PLAY** にタッチすると、タッチしたプレイモードに収録されている先頭のプレイリストの一番目のトラックから再生を開始します。



プレイモード

④ 再生したいプレイリストにタッチします。

- ▶ **PLAY** にタッチすると、タッチしたプレイリストの一番目のトラックから再生を開始します。



プレイリスト

⑤ **TRACK** にタッチします。



⑥ 聞きたいトラック（曲）にタッチします。

- 選んだトラック（曲）の再生画面を表示します。



トラック（曲）



同じモード内にリストが9個以上ある場合は、▲、▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

■ 聞きたいトラック（曲）をカテゴリから選ぶ

アルバム名やタイトルなどとは別に、そのときのイメージに合わせて聞きたいトラック（曲）を選ぶことができます。

① **AGENT** にタッチします。



MUSIC JUKE の操作

② 各カテゴリにタッチします。

③ ▶PLAY にタッチします。

- 選んだカテゴリに該当する曲を再生します。



項 目	対象となるトラック (曲)	
曲イメージ	パワフル	明るいイメージの曲
	普通	普通
	静か	暗いイメージの曲
シーン	シティクルーズ	ドライブで聞きたい曲
	ハイウェイクルーズ	高速道路を走行するときに聞きたい曲
	ナイトクルーズ	夜のドライブで聞きたい曲
年代	～'60	60年代以前の曲
	'70	70年代の曲
	'80	80年代の曲
	'90	90年代の曲
	'00～	00年代以降の曲
タイアップ / イベント	テレビ CM	テレビ番組のオープニング/エンディング曲、CM ソングなど
	ドラマ ムービー	ドラマ主題歌 / 挿入歌、映画主題歌 / 挿入歌など
	ラブソング	ラブソング
	メモリー	クリスマスやバレンタインなどにちなんだ曲
	メジャーヒット	メジャーヒットした曲

再生を止める

① 電源ボタンを押します。

- もう一度押すと、最後に聞いていたトラック (曲) の頭から再生を始めます。



自分だけのアルバムリストを作成してみよう

オリジナルプレイリストを作成する

お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。
1 つのプレイリストには最大 99 曲を収録することができます。
作成したプレイリストは、プレイモードのマイセレクトから探すことができます。



作成したプレイリストには、必ずトラック（曲）を収録してください。プレイリストを作成しても、トラック（曲）が収録されていないと、プレイリストは登録されません。

- 1 MUSIC JUKE の操作画面で、**機能** にタッチします。



- 2 **編集** にタッチします。



- 3 **マイセレクトの編集** にタッチします。



■ アルバムリストに「私のベストコレクション」というタイトルを付けます。

- 4 **新規** にタッチします。



MUSIC JUKE の操作

- 5 **タイトル** にタッチします。



- 6 **わ**、**た**、**し** にタッチします。



- 7 **変換** にタッチします。



- 8 **私** にタッチします。



- 9 **の** にタッチします。



- 10 **無変換** にタッチします。



- 11 **カナ** にタッチします。



- 12 **ヘ**、**、**、**ス**、**ト**、**コ**、**レ**、**ク**、**シ**、**ヨ**、**ン** の順にタッチします。



- 13 **完了** にタッチします。

- 「タイトル」 が登録されます。



- 14 **完了** にタッチします。



MUSIC JUKE の操作

■ プレイリストにトラック（曲）を収録します。

15 **PLAY MODE** にタッチします。

16 追加したいプレイリストが収録されているプレイモードにタッチします。



17 追加したいトラック（曲）が収録されているプレイリストにタッチします。

- ▲、▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示します。



18 収録したいトラック（曲）にタッチします。

- 一度に複数のトラック（曲）を収録する場合は、収録したいトラック（曲）全てにタッチしてください。
- 家アイコンにタッチすると、プレイリストを一覧で表示する画面にもどります。

19 **追加** にタッチします。

- 選んだトラック（曲）を作成したプレイリストの一番最後に追加します。



20 **完了** にタッチします。



- 作成したプレイリストが登録され、④ の画面にもどります。



ワンポイント

MUSIC JUKE は他にもいろいろな編集ができます。
詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKE の操作」を参照してください。

6 TV・DTV の操作

TV・DTV を見るには

ソースを TV または DTV にする

- 1 SOURCE MENU 画面で、**TV** または **DTV** にタッチします。



ワンポイント

- **DTV** は地上デジタル TV チューナが接続されている場合に表示されます。
- **DTV** を選択する場合は、**次ページ** にタッチします。



よく見る放送局を記憶させる

- 1 **▲/▶▶**、**▼/◀◀** を押します。
 - 手動選局 軽く押すと、1ch ずつ切り替わります。
 - 自動選局 "ピー" と音がするまで押すと、自動で選局します。
- 2 プリセットスイッチを "ピー" と音がするまでタッチします。
 - プリセットスイッチからチャンネルを選ぶときは、見たいチャンネルにタッチし、**決定** にタッチします。



チューニングスイッチ



プリセットスイッチ

自動で放送局を探して記憶させる

■ AUTOプリセット機能を使う

受信可能な放送局を探して、一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能です。必要が無くなれば、簡単にもとの記憶させていた放送局に切り替えることができます。

- 1 **AUTO.P** を "ピー" と音がするまでタッチします。
 - もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていたチャンネルが表示が切り替わります。



二ヶ国語同時放送の音声を切り替える

音声多重放送を受信しているときに、主音声や副音声を切り替えることができます。

① **設定** にタッチします。



② **機能** にタッチします。

- 機能スイッチを表示します。



③ **主/副** にタッチします。

- ▼ にタッチすると、機能スイッチを収納します。
- 機能スイッチを表示している場合は、機能スイッチ以外のタッチスイッチ操作はできません。



ワンポイント

二ヶ国語同時放送を受信したときは、**三**が表示されます。

TV・DTV の操作

複数のチャンネルを表示させる

プリセットスイッチに記憶されている放送局を 8 画面に分割して同時に表示することができます。

① **8画面** にタッチします。

- 各画面は動画、静止画の順に切り替わります。
- チャンネルにタッチすると、全画面になります。



TV・DTV を止める

① **電源** を押します。

- もう一度押すと、電源を切る前の受信放送局(チャンネル) が受信 (映像画面中に OFF した場合は、音声のみ) されます。



7 DVD の操作

DVD ビデオを見るには

DVD を再生する

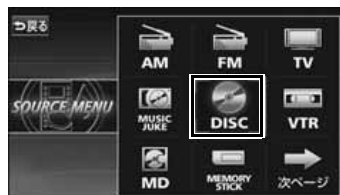
■ DVD が差し込まれていないとき

- 1 差し込み口に DVD を差し込み、ディスク
プレイ部を閉じます。

- 自動で再生を始めます。

■ DVD が差し込まれているとき

- 1 SOURCE MENU 画面で、**DISC** に
タッチします。



映像を操作する

再生中の映像を簡単に操作することができます。

- 1 操作スイッチにタッチします。

- 一時停止中 () に に短く
タッチすると、スロー再生し、 に短く
タッチすると、コマ送り再生します。



見たいチャプターを選ぶ

- 1 、 を押します。



チャプター
切り替え
スイッチ

DVD の操作

ディスクメニューを操作する

本機は、ディスクに収録されているメニューのアイコンに直接タッチしたり、タッチスイッチを操作して、メニューを選択することができます。ディスクに収録されているメニューが自動で表示された場合は、**③** の操作をおこなってください。

- ①** **NEXT** にタッチします。



■ メニューのアイコンにタッチして操作する

- ②** **ダイレクト** にタッチします。



- ③** メニューのアイコンにタッチします。



■ タッチスイッチから操作する

- ② **メニュー**、または **トップメニュー** にタッチします。



- ③ **✦** にタッチします。



- ④ **↓** **↑** **←** **→** にタッチし、再生したい内容を選びます。

- ⑤ **決定** にタッチします。



DVD を止める

- ① **⏻** を押します。

- もう一度押すと、再生が再開（映像画面中に OFF した場合は、音声のみ）されます。



8 音質の調整

音質を調整しよう

お聞きになる音楽に合わせて、擬似的に演奏会場を創り出したり、きめ細かく音質を調整することができます。また、お聞きになる位置に合わせて音場の中心を調整したり、各スピーカーの音量バランスを調整することができます。

音楽のイメージに合わせて演奏会場を再現する

① **SOUND** にタッチします。

- TV、VTR、DTV のときは **設定** に、DVD のときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。



② **DSP** にタッチします。



③ お好みの音場スイッチにタッチします。

- **戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホールを再現したモード
LIVE	ライブハウスを再現したモード
CATHEDRAL	残響音の多い教会を再現したモード
STADIUM	野外スタジアムを再現したモード
CLUB	ディスコ、クラブを再現したモード
OFF	DSP OFF

音楽に合わせて音質を調整する（イコライザ）

① **SOUND** にタッチします。

- TV、VTR、DTV のときは **設定** に、DVD のときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。

② **EQ** にタッチします。



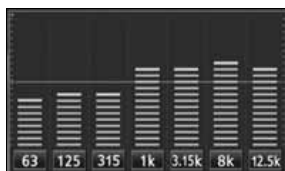
■ 設定されているイコライザカーブを選択する

③ **EQ1** ~ **EQ5** にタッチします。

- **戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。

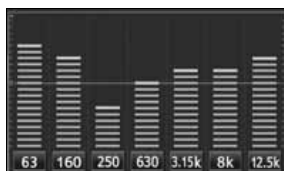


EQ1



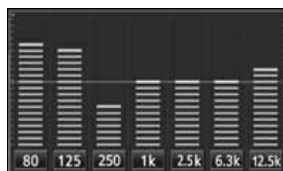
高域を強調したパターン

EQ2



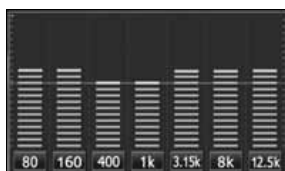
低域高域を強調したパターン

EQ3



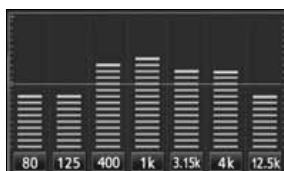
低域を強調したパターン

EQ4



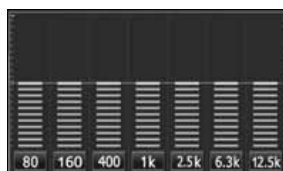
低域高域を少し強調したパターン

EQ5



ボーカル帯域を強調したパターン

FLAT



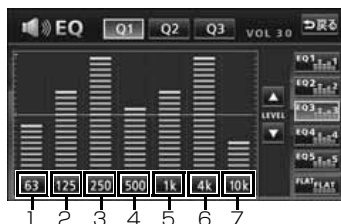
EQ 補正なし

音質の調整

■ イコライザカーブを作成する

③ 各バンドの周波数にタッチして、調整したい周波数（中心周波数）を選択します。

- 各バンドの周波数にタッチすることにより中心周波数が切り替わります。



バンド	中心周波数 (Hz)	バンド	中心周波数 (Hz)
1	63 → 80 → 100	5	1.6k → 2k → 2.5k → 3.15k
2	125 → 160 → 200	6	4k → 5k → 6.3k → 8k
3	250 → 315 → 400 → 500	7	10k → 12.5k → 16k
4	630 → 800 → 1k → 1.25k		

④ 指で、調整したい周波数レベルの高さにタッチします。

⑤ **Q1**、**Q2**、**Q3** のいずれかにタッチして、Q カーブパターンを選択します。

スイッチ	Q カーブパターン
Q1	緩い（帯域幅：広い）
Q2	中間（帯域幅：中間）
Q3	鋭い（帯域幅：狭い）

⑥ **EQ1** ～ **EQ5** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- タッチしたタッチスイッチに作成したイコライザカーブが記憶されます。



座席に合わせて音場の中心を調整する

① **SOUND** にタッチします。

- TV、VTR、DTV のときは **設定** に、DVD のときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。

② **POS** にタッチします。



③ ポジション (シート) にタッチします。

- **戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。

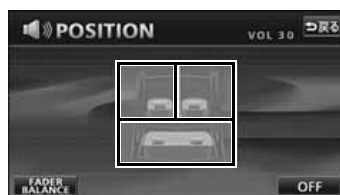


表 示	ポジション (位置)	表 示	ポジション (位置)
	運転席を 中心にした音場		助手席を 中心にした音場
	前席を 中心にした音場		後席を 中心にした音場



ワンポイント

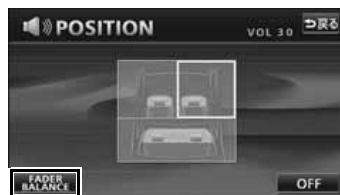
音量バランスの調整 (次ページ) とは、同時に設定できません。

音質の調整

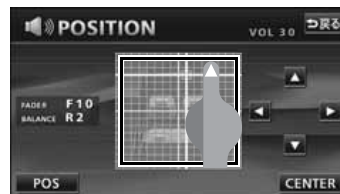
前後左右の音量バランスを調整する

① **SOUND** にタッチします。

- TV、VTR、DTV のときは **設定** に、DVD のときは **NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。

② **POS** にタッチします。③ **FADER BALANCE** にタッチします。④ ☐ 内のお好みの場所にタッチします。

- **戻る** にタッチすると、設定は記憶され、前に表示していた画面にもどります。



ワンポイント

音場の中心の調整（前ページ）とは、同時に設定できません。

スピーカー情報を設定するには

お車に接続されているスピーカーの種類やサイズを設定することができます。

① **SOUND** にタッチします。

- TV、VTR、DTV のときは **設定** に、DVD のときは **NEXT** 、 **設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。



② **SETTING** にタッチします。



③ **SP SETTING** にタッチします。



④ スピーカーサイズおよびWoofer(ウーファ)の有無を設定します。

- Front (フロントスピーカー) は、“LARGE” に設定されています。
- 各タッチスイッチにタッチすると、下記のようにスピーカーサイズが切り替わります。

CENTER	LARGE	→	SMALL
REAR	↑	NONE	←
WOOFER	YES	→	NO



音質の調整

各スピーカーのサイズと機能

スピーカーの種類	接続	サイズ	機 能
CENTER (センタースピーカー)	無	NONE	センタースピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 センタースピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが 100Hz 以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz 以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが 100Hz 以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
REAR (リヤスピーカー)	無	NONE	リヤスピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 リヤスピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが 100Hz 以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz 以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが 100Hz 以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
WOOFER (ウーファ)	有	YES	ウーファスピーカーから出力されます。
	無	NO	ウーファスピーカーから出力されません。

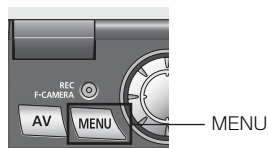
モノラル方式で収録された DVD ビデオはセンタースピーカーからのみ音声出力されません。センタースピーカーを接続していても、CENTER を“NONE”に設定すると、センタースピーカーからの音声をフロント左右のスピーカーに振り分けて出力します。

9 その他の設定

スイッチの操作音（“ピッ”）を変えてみよう

パネルスイッチを押したときや、画面のタッチスイッチにタッチしたときに“ピッ”と鳴る操作音を変えたり、出なく（消音）することができます。

- ① **MENU** を押します。



- ② **INFORMATION** にタッチします。



- ③ **設定** にタッチします。

- **設定** からはいろいろな調整ができます。詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「基本操作」を参照してください。



- ④ 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4** のいずれかにタッチします。

- **OFF** にタッチすると、操作音がでなくなります。（消音）



- ⑤ **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

設定できる操作音は“ピッ”という音のみです。“ピーッ”という音や“ピッピッ”という音は設定することができません。

その他の設定

画面の表示サイズを切り替えよう

TV や DVD、VTR の表示サイズを切り替えることができます。

TV の表示画面サイズを切り替える

① **設定** にタッチします。

- DVD のときは **NEXT** にタッチすると、**設定** が表示されます。

② **機能** にタッチします。

- DVD、VTR のときは、この操作はありません。

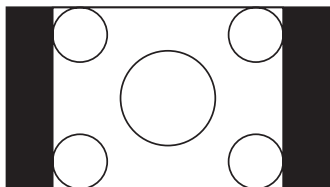
③ **ワイドモード** にタッチします。

④ 切り替えたいサイズにタッチします。



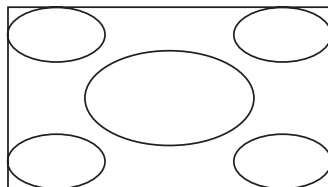
■ 標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



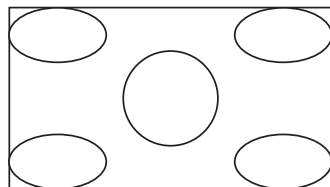
■ ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



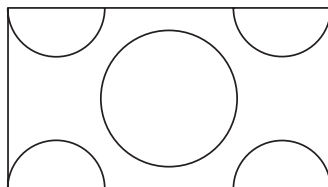
■ ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に非均等に拡大して表示されます。



■ ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。



注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1 マルチウィンドウの操作

ナビゲーション画面とオーディオ画面を同時に表示しよう

マルチウィンドウ機能を使用すると、ナビゲーションの地図画面とオーディオ画面などを同時に表示することができます。

■ パネルスイッチから表示する

- 1 **マルチW**（画質）を押します。



- 2 表示したいモードにタッチします。



- マルチウィンドウ機能を解除するときは **現在地** を押してください。
- 行き先までのルート案内中にマルチウィンドウを表示していると、分岐する交差点に近づいても、交差点拡大図を表示しません。
- マルチウィンドウ機能を使用して DTV の映像をご覧になることはできません。

■ タッチスイッチから表示する

- 1 オーディオ操作画面、または TV 設定画面で **マルチW** にタッチします。

- 今、お使いになっているソースのマルチウィンドウ画面を表示します。



■ TV にタッチすると

TV 画面を表示します。※



■ DVD Video にタッチすると

DVD 画面を表示します。※



■ オーディオ にタッチすると

最後に聞いていたオーディオを表示します。



■ ルート情報 にタッチすると

目的地までのルート情報を表示します。



■ 電卓 にタッチすると

8 ケタまでの四則演算ができる簡易電卓を表示します。



■ 時計 にタッチすると

現在の時刻を表示します。



※ TV / DVD は走行中、安全上の配慮などから音声のみにになります。

マルチウィンドウの操作

マルチウィンドウを操作しよう

TV/DVD の操作

■ 全画面の切り替え

50 : 50 の割合の画面と全画面

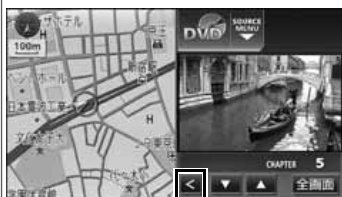


全画面 にタッチ



■ 画面比率の切り替え

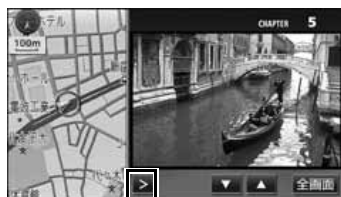
50 : 50 と 30 : 70 の割合の画面



< にタッチ



> にタッチ



- 30 : 70 画面のときに映像部分にタッチすると、たてサイズを引き伸ばした画面に切り替えます。

■ 画面たてサイズの切り替え

50 : 50 とたてのサイズを引き伸ばした画面



映像部分にタッチ



映像部分にタッチ



- たてのサイズを引き伸ばした画面では、操作スイッチなどは表示されません。

TV 画面では、**▲** **▼** にタッチするとチャンネルを 1ch ずつ順に切り替え、DVD 画面では、**▲** **▼** にタッチするとチャプターを順に切り替えます。



ワンポイント

- TV・DVD 画面は、**全画面** にタッチすると通常の TV、DVD に切り替わります。再度、マルチウィンドウ画面を表示するときは **マルチW** (画質) を押し、**TV**、または **DVD Video** にタッチしてください。
- マルチウィンドウ機能使用中は DVD のダイレクトタッチ機能を使用することができません。

ルート情報画面の操作



全画面 にタッチ



マルチW に
タッチ



▲、▼ にタッチすると、インターチェンジやジャンクション、目的地、通過道路、道路種別の変わり目でルート情報を分割して表示します。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「ルート情報（案内道路情報）の表示」を参照してください。

オーディオ画面の操作



全画面 にタッチ



マルチW に
タッチ



▲ にタッチ



FM にタッチ

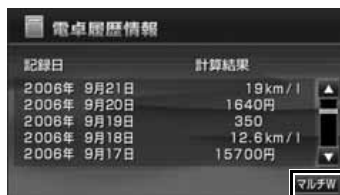


ラジオでは放送局の切り替え、CD、MD、“メモリースティック”、MUSIC JUKE、MP3/WMA では、曲やリストを切り替えます。

※ **DTV** を選択した場合、映像は表示されず音声のみになります。映像を表示したいときは **全画面** にタッチしてください。

マルチウィンドウの操作

電卓の操作

履歴に
タッチマルチWに
タッチ

- **記録** にタッチすると計算結果などを履歴として残すことができます。
- **円** や **km/l** にタッチすると計算結果に単位をつけることができます。



ワンポイント

電卓履歴情報は最大 20 個まで記録することができます。すでに 20 個の情報がある時に、**記録** にタッチすると、自動で一番古い情報を削除し、新しい情報を追加します。

ESN (ECLIPSE Security Network) の操作

ESN (ECLIPSE Security Network) について

本機は、ESN (ECLIPSE Security Network) 機能を搭載しています。ESN は、エンジンキー (ACC) を「OFF」にし、再度エンジンキー (ACC) を「ON」にした場合や、バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合に、本機のナビゲーションやオーディオの機能を操作させなくするセキュリティシステムです。

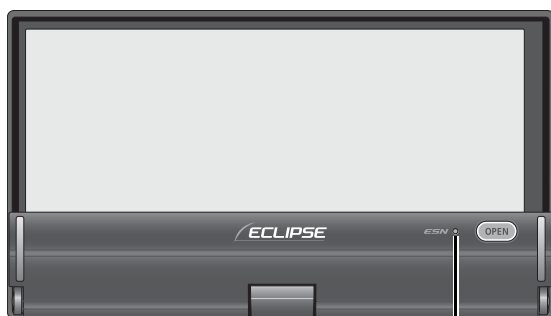
ESN には“メモリースティック”セキュリティと ACC セキュリティ (簡易セキュリティ) があります。ESN を作動させるためには、暗証番号を本機と、“メモリースティック”に登録してください。

各セキュリティシステムの作動条件と解除方法は下記になります。

項 目	作動条件	解除方法
“メモリースティック”セキュリティ	バッテリーターミナルをはずすと、セキュリティを ON にする	“メモリースティック”と本機の暗証番号、セキュリティ ID、モデル名の全てを照合させ、セキュリティを解除する
ACC セキュリティ	ACC セキュリティを ON に設定している場合、エンジンキー (ACC) を「OFF」にするとセキュリティを ON にする	“メモリースティック”と本機の暗証番号を照合させる、または、暗証番号を入力し、セキュリティを解除する

■ セキュリティの作動を確認するには

セキュリティが ON のときは、セキュリティインジケーターが点滅します。



セキュリティインジケーター

ESN (ECLIPSE Security Network) の操作

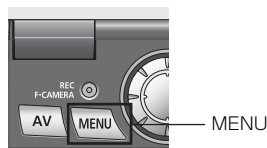
■ 本機と“メモリースティック”に暗証番号を登録しよう

ESN を設定した場合、セキュリティを解除するときに暗証番号、または暗証番号を登録した“メモリースティック”が必要になります。

- 暗証番号は 4 桁です。初期設定は「0000」になっています。暗証番号は他人にわかりにくい番号にしておいてください。

**① “メモリースティック”差し込み口に
“メモリースティック”を差し込みます。**

② **MENU を押します。**



③ **INFORMATION にタッチします。**



④ **ESN にタッチします。**

- セキュリティを設定する場合、オーディオが OFF になります。



⑤ **コード設定 にタッチします。**



⑥ 現在の暗証番号「0000」を入力します。

- 間違えたときは、**クリア** にタッチすると、消去されます。

⑦ 決定 にタッチします。



⑧ 新しい暗証番号を入力します。

- 入力した暗証番号は“*”で表示されます。

⑨ 決定 にタッチします。



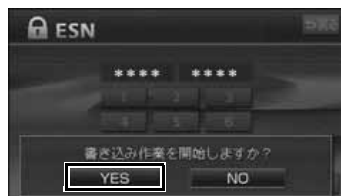
⑩ 確認のため、もう一度、⑧ で入力した番号を入力します。

⑪ 決定 にタッチします。



⑫ YES にタッチします。

- 本機と“メモリースティック”への書き込み作業が始まります。
- 書き込みが完了すると、④ の画面にもどります。



ワンポイント

登録した暗証番号および“メモリースティック”は、暗証番号の変更やセキュリティの解除などのときに必要になります。登録した暗証番号および“メモリースティック”を忘れたときの確認用にメモなどをしておくことをおすすめします。

ESN (ECLIPSE Security Network) の操作

ESN セキュリティを作動しよう

“メモリースティック” セキュリティを作動する

「本機と“メモリースティック”に暗証番号を登録しよう」(154 ページ) で、暗証番号を登録すると、“メモリースティック”セキュリティは作動します。

- “メモリースティック”セキュリティを作動させると、お車のバッテリーターミナルをはずし、再度、バッテリーターミナルを接続すると、本機のナビゲーションやオーディオの機能が操作できなくなります。

ACC セキュリティ (簡易セキュリティ) を作動する

“メモリースティック”に暗証番号を登録していないと機能しません。

“メモリースティック”に暗証番号を登録してから操作してください。

- ACC セキュリティを作動させると、お車のエンジンキー (ACC) を「OFF」にし、再度「ON」にすると本機のナビゲーションやオーディオの機能が操作できなくなります。

- 1 **MENU** を押します。



- 2 **INFORMATION** にタッチします。



- 3 **ESN** にタッチします。

- セキュリティを設定する場合、オーディオが OFF になります。



- ④ ACC セキュリティの **ON** にタッチします。



- ⑤ **設定完了** にタッチします。

- ACC セキュリティが“ON” になります。



ESN (ECLIPSE Security Network) の操作

ESN セキュリティロックを解除する（本機を操作できるようにする）

“メモリースティック” セキュリティを解除する

“メモリースティック” セキュリティは、暗証番号を登録した“メモリースティック”を使って解除することができます。

バッテリーターミナルをはずし、再度接続すると、プログラムの読み込み画面、およびオープニング画面が表示され、その後、セキュリティ画面が表示されます。

① 暗証番号を登録した“メモリースティック”を“メモリースティック”差し込み口に差し込みます。

- “メモリースティック”の差し込みについては、「“メモリースティック”を差し込む場合」21ページを参照してください。

② 認証にタッチします。

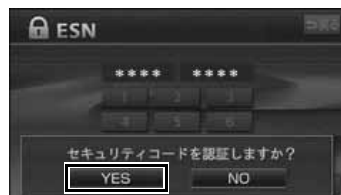
- 本機との照合が完了すると、セキュリティロックを解除します。



ワンポイント

暗証番号を登録した“メモリースティック”を紛失した場合や、暗証番号などの登録データを消失した場合は、**HELP** を約 5 秒以上タッチしつづけてください。お客様問合せ画面を表示する、またはしないの確認画面が表示されます。

③ YES にタッチします。



ワンポイント

- 違う“メモリースティック”を差し込んだ場合などは、最大5回までセキュリティの解除操作を行うことができます。照合できなかった場合はお客様問い合わせ画面を表示します。
- お客様問い合わせ画面を表示した場合、本機を操作することはできません。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。（「ユーザー登録の案内とアフターサービスについて」172 ページ参照）

ACC セキュリティ（簡易セキュリティ）を解除する

ACC セキュリティは、暗証番号を登録した“メモリースティック”を使って解除する方法と、暗証番号を入力して解除する方法があります。

お車のエンジンキー（ACC）を「OFF」にし、再度「ON」にするとオープニング画面が表示され、その後、セキュリティ画面が表示されます。

■ 暗証番号を入力して解除する場合

① 暗証番号を入力します。



② **決定** にタッチします。

- 本機との照合が完了すると、セキュリティを解除します。
- 5回照合できなかった場合、お客様問い合わせ画面を表示します。



■ 暗証番号を登録した“メモリースティック”で解除する場合

① 暗証番号を登録した“メモリースティック”を“メモリースティック”差し込み口に差し込みます。

- “メモリースティック”の差し込みについては、「“メモリースティック”を差し込む場合」21ページを参照してください。

② **MEMORY STICK** にタッチします。



ESN (ECLIPSE Security Network) の操作

3 YES にタッチします。

- 本機との照合が完了すると、セキュリティを解除します。
- 5回照合できなかった場合、お客様問い合わせ画面を表示します。



ワンポイント

- 暗証番号が違う場合や、違う“メモリースティック”を差し込んだ場合などは、最大5回までセキュリティの解除操作を行うことができます。照合できなかった場合はお客様問い合わせ画面を表示します。
- お客様問い合わせ画面を表示した場合、本機を操作することはできません。この場合は、お客様相談窓口までご連絡ください。（「ユーザー登録の案内とアフターサービスについて」172 ページ参照）

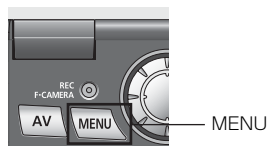
暗証番号を変更しよう

登録している暗証番号を変更します。
暗証番号は下記の方法で変更することができます。

- 現在の暗証番号を入力してから変更する。
- 現在の暗証番号を登録した“メモリースティック”を差し込み、本機と照合させてから変更する。

- 1 暗証番号を登録した“メモリースティック”を“メモリースティック”差し込み口に差し込みます。

- 2 **MENU** を押します。



- 3 **INFORMATION** にタッチします。

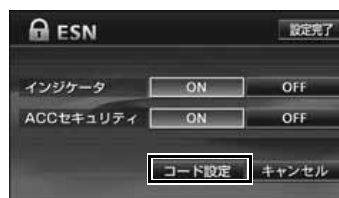


- 4 **ESN** にタッチします。

- セキュリティを設定する場合、オーディオがOFFになります。



- 5 **コード設定** にタッチします。



ESN (ECLIPSE Security Network) の操作

■ 現在の暗証番号を入力してから変更する場合

⑥ 現在の暗証番号を入力します。

⑦ **決定** にタッチします。



⑧ 新しい暗証番号を入力します。

- 入力した暗証番号は“*”で表示されます。

⑨ **決定** にタッチします。



⑩ 確認のため、もう一度、⑧ で入力した番号を入力します。

- 入力した暗証番号は“*”で表示されます。

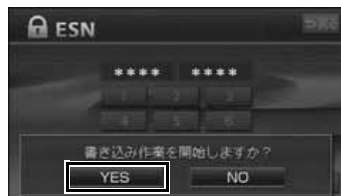
⑪ **決定** にタッチします。



⑫ **YES** にタッチします。

- 本機と“メモリースティック”への書き込み作業が始まります。

書き込みが完了すると、⑤ の画面にもどります。



■ 現在の暗証番号を登録した“メモリースティック”を差し込み、本機と照合させてから変更する場合

⑥ **MEMORY STICK** にタッチします。



⑦ **YES** にタッチします。



⑧ 新しい暗証番号を入力します。

● 入力した暗証番号は“*”で表示されます。

⑨ **決定** にタッチします。



⑩ 確認のため、もう一度、⑧ で入力した番号を入力します。

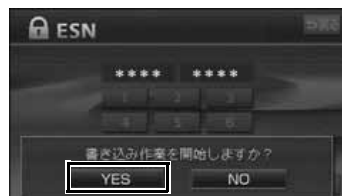
● 入力した暗証番号は“*”で表示されます。

⑪ **決定** にタッチします。



⑫ **YES** にタッチします。

● 本機と“メモリースティック”への書き込み作業が始まります。
● 書き込みが完了すると、⑤ の画面にもどります。



ESN (ECLIPSE Security Network) の操作

ESN セキュリティシステムを作動させなくする

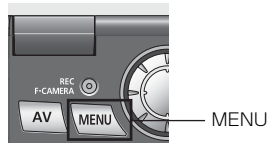
ESN セキュリティを作動させなくした後、再度セキュリティシステムを作動させる場合はもう一度、暗証番号を登録してください。（「本機と“メモリースティック”に暗証番号を登録しよう」154 ページ参照）

ESN セキュリティは下記の方法で作動させなくすることができます。

- 現在の暗証番号を入力してから作動させなくする。
- 現在の暗証番号を登録した“メモリースティック”を差し込み、本機と照合させてから作動させなくする。

“メモリースティック”セキュリティシステムを作動させなくする

- ① **MENU** を押します。



- ② **INFORMATION** にタッチします。



- ③ **ESN** にタッチします。

- セキュリティを設定する場合、オーディオが OFF になります。



- ④ **キャンセル** にタッチします。



■ 暗証番号を入力して作動させなくする場合

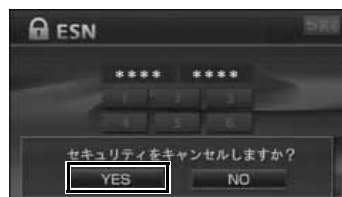
⑤ 現在の暗証番号を入力します。

⑥ **決定** にタッチします。



⑦ **YES** にタッチします。

- セキュリティシステムは作動しなくなります。



■ 暗証番号を登録した“メモリースティック”を差し込み作動させなくする場合

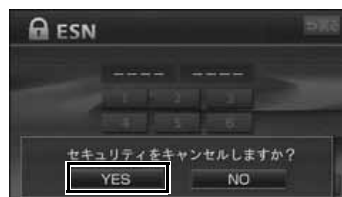
⑤ 暗証番号を登録した“メモリースティック”を“メモリースティック”差し込み口に差し込みます。

⑥ **MEMORY STICK** にタッチします。



⑦ **YES** にタッチします。

- 本機との照合が完了すると、セキュリティシステムは作動しなくなります。

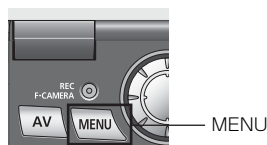


ESN (ECLIPSE Security Network) の操作

ACC セキュリティシステムを作動させなくする

“メモリースティック” セキュリティシステムが作動しているときに操作できます。

- 1 **MENU** を押します。



- 2 **INFORMATION** にタッチします。



- 3 **ESN** にタッチします。

- セキュリティを設定する場合、オーディオが OFF になります。



- 4 ACCセキュリティで、**OFF** にタッチします。

- 5 **設定完了** にタッチします。



セキュリティインジケータの表示を設定しよう

ESN セキュリティを作動させているときに点滅するセキュリティインジケータの表示を切り替えることができます。

- 1 **MENU** を押します。



- 2 **INFORMATION** にタッチします。



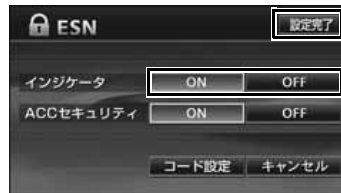
- 3 **ESN** にタッチします。

- セキュリティを設定する場合、オーディオが OFF になります。



- 4 インジケータで **ON**、または **OFF** にタッチします。

- 5 **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

本機と“メモリースティック”に暗証番号が登録されていないとインジケータの表示を「ON」に設定できません。

1 バッテリーの交換時

バッテリーを交換したときは

バッテリーを交換したとき（バッテリーの ⊕ ターミナルを接続）は、エンジンキー（ACC）を「ON」にするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中（約 1 分間）は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

下記のように画面がかわります。



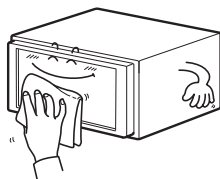
2 お手入れについて

本機やアンテナのお手入れについて

本機のお手入れについて

- 汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。

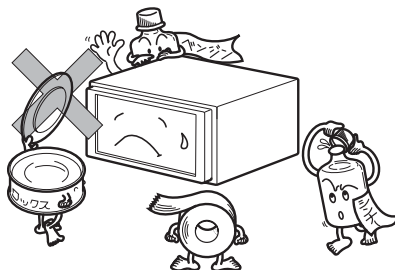
汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。

化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

アンテナのお手入れについて

- GPS アンテナにワックスがけや塗装をしないでください。電波の受信感度低下や受信不能の原因になります。
- フィルム TV アンテナ及びケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

3 本機をおゆずりになるときは

登録した内容の消去について

本機に登録した内容を消去し、本機を初期状態にもどすことができます。
初期化（消去）される項目は下記になります。

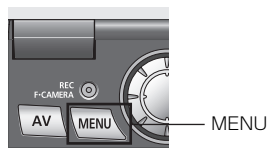
項目	初期化される内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
目的地履歴	目的地を設定したときに自動で記憶される地点
ユーザーカスタマイズ	記憶させた各種ナビ設定
ショートカット	ショートカットスイッチに記憶させた機能
走行軌跡	記録した走行軌跡の表示



ワンポイント

- MUSIC JUKE に録音された内容および保存された画像データは消去されません。MUSIC JUKE の操作、または画像データの消去でデータを消去してください。（詳しくは「取扱説明書オーディオ編」-「MUSIC JUKE の操作」、「背景画の設定」を参照してください。）
- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業をおこなってください。

① MENU を押します。



② INFORMATION にタッチします。



③ **設定** にタッチします。



④ **次ページ** にタッチします。

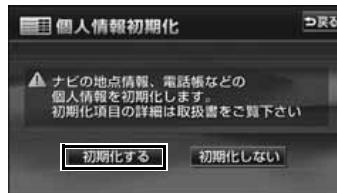


⑤ 個人情報の **個人情報消去** にタッチします。

- 個人情報初期化画面が表示されます。

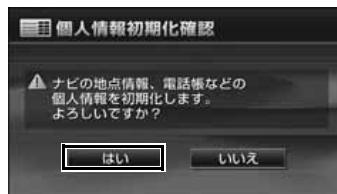


⑥ **初期化する** にタッチします。



⑦ **はい** にタッチします。

- 個人情報を初期化後、⑤の画面にもどります。



ワンポイント

初期化中はオーディオの出力が停止します。初期化後、自動で音声を出力します。

4 ユーザー登録の案内とアフターサービスについて

■ ユーザー登録のご案内

ユーザー登録について

この製品は、より確実にお客様をサポートさせていただくために「ご愛用カード」の送付、またはインターネットからの登録を実施させていただいております。また、当社新製品開発のためにアンケートの記入もご依頼しております。

ユーザー登録の方法について

- 「ご愛用カード」の送付によるご登録
巻末の「ご愛用カード」に住所、お名前、電話番号および裏面のアンケートに必要な事項をご記入のうえ弊社まで送付してください。
登録内容に変更がある場合は、インターネットの弊社ご登録専用ホームページにご連絡いただければ対応させていただきます。
- インターネットによるご登録
弊社ご登録専用ホームページにアクセスし、住所、お名前、電話番号およびアンケートに必要な事項をご記入のうえ送信してください。登録内容に変更がある場合は、インターネットの弊社ご登録専用ホームページにご連絡いただければ対応させていただきます。ご登録専用ホームページのアドレスは下記になります。

<https://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/user/>

お客様の個人情報について

当社は、お客様個人に関する情報の重要性を認識し、厳重な管理を行っております。

■ アフターサービス

1. この商品には保証書を添付しております。
保証書は販売店でお受けとりの際、必ず、「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
3. 調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、修理に出す前に「**取扱説明書ナビゲーション編**」、「**取扱説明書オーディオ編**」を、もう一度よくご覧のうえ調べてください。簡単な調整やお手入れで直ることがあります。それでも具合が悪いときは、次により修理をお申しつけください。
 - ◆修理の受け付けは、お求めの販売店が行います。
 - ◆保証期間中は、商品に保証書を添えてお求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
※修理、点検に要する商品の脱着費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。
 - ◆保証期間が過ぎているときは、お客様のご希望によりまして、有料で修理をお引き受けいたしますのでお求めの販売店にお持ち込みください。
4. 出張による修理、点検は行っておりません。
5. この商品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

ユーザー登録の案内とアフターサービスについて

商品に関するお問い合わせ先 アフターサービスについて

商品のアフターサービスに関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン（株）本社	0120-022210
北海道全域	(011) 821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03) 3366-3833
中部、北陸地区	(052) 581-8726
近畿、中国、四国地区	(078) 682-2245
九州全域、沖縄	(092) 511-3252

受付時間：午前 10:00 ～ 12:00 午後 1:00 ～ 5:00
(土・日・祝日などを除く)

＜商品のご購入、組み合わせ等に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ＞

富士通テン東日本（株）	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支社	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目2番38号	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字栗宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨 城
東北営業所	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3丁目4番18号 (タカノボル第22ビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部（株）	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	中部、北陸地区
富士通テン西日本（株）	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、 滋賀、奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0034 高松市内町1番13号（日新内町ビル）	(087)822-1411	四国地区
九州支社	〒815-0031 福岡市南区清水4丁目4番34号	(092)511-3210	九州全域、沖縄

5 仕様について

各仕様

GPS フィルムアンテナ

寸法	26 (W) × 16 (H) × 6 (D) mm (突起部を除く)
重量	約 86 (g)
供給電源電圧	4.2V ~ 5.0V
消費電流	10mA (最大)
作動温度	-30℃ ~ +85℃
保存温度	-40℃ ~ +100℃

テレビ・ディスプレイ

受信チャンネル	VHF1 ~ 12 チャンネル、UHF13 ~ 62 チャンネル
液晶パネル	7 型ワイド低反射パネル
画面寸法	156 (W) × 82.8 (H) mm
画素数	1,152,000 個 (800 (H) × 480 (V) × 3)
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式
動作温度範囲	-20℃ ~ +65℃
保存温度範囲	-40℃ ~ +85℃

ラジオ・チューナー部

受信周波数	● AM522 ~ 1,629kHz ● FM76 ~ 90MHz
実用感度	● AM22μV (S/N20dB) ● FM14dBf (新 IHF)
周波数特性	30 ~ 15,000Hz (FM)
ステレオセパレーション	35dB (1kHz)

CD 部

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01% (0dB、1kHz)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	90dB (1kHz)
ダイナミックレンジ	88dB

MD 部

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.3% (0dB、1kHz)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	90dB
ダイナミックレンジ	88dB

メモリースティック部

高調波歪み率	0.01% (0dB、1kHz)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	90dB (1kHz)

仕様について

DVD 部

高調波歪み率	0.3% (1kHz、0dB、0.5W 出力時)
周波数特性	20 ~ 20,000Hz
S / N 比	85dB (1kHz)

共通部

定格出力	15W × 4 (1kHz、1%4Ω) (EIAJ)
最大出力	50W × 4 (試験電圧 14.4V)
適合負荷インピーダンス	4Ω (各チャンネル)
電源電圧	DC13.2V (10.5-15.8V) アース専用
消費電流	● 0.5W × 4 出力時 約 3.5A ● 最大約 15A
外形寸法	横幅 180mm ・ 高さ 100mm ・ 奥行 165mm
質量 (重量)	約 3.6kg

HDD (ハードディスクドライブ) 部

容量	40GB
使用温度範囲	- 10℃ ~ + 60℃

バックアイカメラ (別売)

撮像素子	1/4 インチ カラー CCD
CCD 画素数	約 27 万画素
水平解像度	300TV (中心) 以上
カメラ	焦点距離 f = 1.3mm F 値 1 : 3.0 画角 (水平、垂直) 135°、105°
TV 方式	NTSC
標準映像出力レベル	1Vp-p (75Ω)
最低被写体照度	1.6 lux (25IRE)
ホワイトバランス方式	自動
自動感度調整範囲	1 : 1600 以上
電源電圧	DC6V ± 0.3V
消費電流	150mA (最大)
ケーブル長	12m
使用温度範囲	- 20℃ ~ + 60℃
保存温度範囲	- 30℃ ~ + 80℃
外形寸法カメラユニット (W × H × D)	約 27mm × 22mm × 24mm
質量 (重量)	約 30g (ケーブル除く)

フロントカメラ（別売）

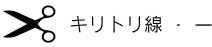
撮像素子		1/4 インチ カラー CCD
CCD 画素数		約 27 万画素
カメラ	画角（水平、垂直）	片側 26°、42°
TV 方式		NTSC
電源電圧		DC6V ± 0.3V
消費電流		190mA（最大）
ケーブル長		5.0m
外形寸法カメラユニット （W × H × D）		約 35mm × 28mm × 50mm
質量（重量）		約 50g（ケーブル除く）

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

MEMO

アンケートにご協力ください。

アンケートはがきは、お客様の登録や、当社新商品開発のために利用させていただきます。
このアンケートはがき（切手不要）をご返送ください。
お待ちしております。



郵便はがき

料金受取人払

神戸兵庫局
承認

489

6528510

(受取人)神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
富士通テン株式会社
C I 本部 第二事業部 商品企画部
ご愛用カード係行

差出有効期間
平成20年3月
31日まで

このアンケートに記載された情報は、お客様の登録、当社新商品開発のために利用させていただきます。（当社よりアンケートなどの協力をお願いする場合があります）また、この情報は、集計等の処理のために、関係会社等に預託する予定です。記載された内容についての照会、変更、削除については上記担当部署までお願い致します。（TEL 078-682-2090）

(フリガナ)								電話		TEL ()			
お名前								番号		—			
ご住所		〒 一 都道 府県											
年 齢		歳		Eメールアドレス									
ご職業 性 別 未既婚	1	2	3	4	5	6	1	2	1	2			
	学 生	事 務 職	技 術 職	自 営 業	無 職	そ の 他	男 性	女 性	未 婚	既 婚			
この商品の装着車	メーカー	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
		トヨタ	日産	本田	マツダ	いすゞ	三菱	スバル	ダイハツ	スズキ	輸入車	その他	
	車名						タイプ	1	2	3	4	5	
	排気量	CC						小型車	普通車	ワゴン	RV	軽四	その他
購入店種類	1	2	3	4	5	購入日	年 月 日						
	カー用品店	カー専門店	カーディーラー	イターネット	通信販売 その他								購入商品
							AVN7706HD						

キリトリ線



今回の ご購入は？	1	2					3	4					
	初めて	買い 替え	以前のブランドは？			システム 追加	その他	()					
			2-A	2-B	()								
			当社	他社									
比較された メーカーは？	1	2	3	4	5	6	7	()					
ご購入時に 重視した ポイントは？	1	2	3	4	5	6	7	()					
	店員の 勧め	ブランド	デザイン	機能・ 性能	使い易さ	価格	その他	()					
本製品を お知りにな ったのは？	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
	店頭	ちらし	カタログ	友人・知 人	TV ラジオ	新聞	カー 雑誌	一般誌	イベント	ポスター	看板	インター ネット	その他 ()
満 足 度 (5段階評価)	非常に 良い	良い	普通	悪い	非常に 悪い	あなたの 情報源は 何ですか？		1	2	3	4	5	6
総 合	1	2	3	4	5			新聞 ()	雑誌 ()	ラジオ・ TV	インター ネット	友人・知 人	その他 ()
デ ザ イ ン	1	2	3	4	5								
機能・性能	1	2	3	4	5	ご意見							
使 い 易 さ	1	2	3	4	5								
価 格	1	2	3	4	5								
パソコンを所有 していますか？	1	持っている											
	2	持っていない											
インターネットを 利用しますか？	1	利用する											
	2	利用しない											

ご協力ありがとうございました。

6 凡例

表示①…リアルワイドマップ画面

表示②…通常地図画面

表示①	表示②	内容	表示①	表示②	内容
		高速・都市高・有料道路			空港・飛行場
		国道			学校
		主要道			幼稚園
		県道			病院・医院
		その他の道路(巾5.5m 以上)			電力会社・発電所
		その他の道路(巾3.0m 以上)			電話局
		トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)			銀行・信用金庫・農協
		私鉄			デパートなど
		JR			ホテル・旅館など
		水域			ビル
		都道府県界			工場
		緑地			灯台
		駅舎・敷地			神社
		踏切			寺院
		ボトルネック踏切※			教会
		官公庁			霊園・墓地
		都道府県庁			城・城跡
		市役所・東京23 区役所			名所・観光地など
		町村・東京以外区役所			ゴルフ場
		警察署			スキー場
		消防署			海水浴場
		郵便局			アイススケート場
		インターチェンジ			マリーナ・ヨットハーバー
		サービスエリア			陸上競技場・体育館
		パーキングエリア			キャンプ場
		信号機			公園
		駐車場			温泉
		駅			山
		道の駅			その他の施設
		フェリーターミナル			
		港湾			

※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。

- 表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。
- VICS情報表示中は、道路の色が異なります。(対象一般道：緑、対象高速道：紫)

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

富士通テン株式会社「お客様相談窓口」

 0120-022210

受付時間 午前10:00～12:00、午後1:00～5:00

(土・日・祝日などを除く)

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

©富士通テン株式会社 2006

090002-2971A700
0607C (N)